京城日報
THE KEIJO NIPPO
第三千七百五十七號（一）　明治三十九年九月八日第三種郵便物認可
大正七年三月八日　年中無休刊
三月七日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

第四十回帝國議會（東京特電）

衆議院（六日）

▲豫算委員總會 —再開延着—

六日午前十時三十分開會劈頭

▼勝田藏相 登壇一般會計追加豫算提出の理由を述べ本追加豫算は歳入千三百六十餘萬圓歳出千三百二十餘萬圓にして此差額四十餘萬圓は追て提出す可き六年度の臨時軍費に使用す可きものなりとて猶詳細の説明を試む

▼吉植庄一郎氏（政友） 物價高騰せば海軍は更に造艦費不足の爲め七年度に於て追加豫算を提出するや

▼加藤海相 從來の物價騰貴率に依れば七年度に於て物價騰貴の爲め追加豫算八百萬圓を計上し得べきも製鐵所との鐵價協定の結果幾分の增減ある可し更に吉植庄一郎氏より追加豫算の費途並びに山下氏の寄附百萬圓受領に關する質問あり、之れに對し加藤海相は追加豫算は飛行機購辨の爲めにして是れに要する維持費は別に要求せざる考へなり

▼勝田藏相 寄附又は獻納金は其赤誠を認めて是れを受納するも弊害を釀す處ある時は其目的、四圍の情勢等を愼重考慮の上處斷す可きものと信じ居れりと答へ、尚二三の問答あり、零時十分休憩

午後一時半引續き開會

▼尾崎行雄氏（憲政） 滿洲出兵に就て聯合與國との交渉顛末及び其眞相如何

▼本野外相 時局の進展に伴ひ是れに應ずる爲め與國間に意見の交換行はれつゝあるは事實なるも此際如何なる程度內容に依りて行はれつゝあるかは公開と秘密會とを問はず明言し難し尾崎行雄氏然らば目下帝國と聯合與國との交渉は國論の一致に基きての交渉なるか單に本野外相一個の考慮に依れるものなるか本野外相さる事に就きては答辯の限りにあらず是等の交渉顛末に就ては發表せざるが目下國家の利益なりと信ず右に對し尾崎行雄氏は政府は聯合國と交渉し意見の一致を發見する事あるも國民との間に意見一致せざる如き事ありては由々敷大事なる可し歐米より來る報道に依れば聯合與國と我國との意見に間隔あるを窺ひ得可きのみならず我國は群議の焦點と爲りつゝあるが如し政府は宜しく外國の疑念を晴らす可く相當の努力を拂ふ可しと述ぶ次で

▼高木正年氏（憲政）より煙草供給不足、在外正貨運用問題、糯秫粟、製艦造船能力、職工の優遇等に就き勝田藏相、加藤海相等と數番問答あり次ぎに

▼高木益太郎氏（國民）は製鐵所事件の顛末を詳細に報告あり度しと述ぶ

▼鈴木司法次官 搜査の秘密に亙るを以て遺憾ながら該事件に就ては此處に報告する能はず但し押川氏在職中一回も家宅搜索を爲せる事無し次で高木益太郎氏は製鐵所刷新問題を提げて農相の意見を質すや之れに對して

▼仲小路農相 製鐵所事件は痛嘆に堪へず之れが廓清の爲め司法權の活動に俟つ可きものあれば元より之れが自由なる活動を希望す行政上の措置に就ては信賴す可き白仁新長官と共に萬全の策を講ぜんと答へ更に選擧法改正、物價調節、税務官吏の苛斂誅求等に關し高木氏の質問あり同三時半散會せり

◎兩大使抑留訓電

過激派政府はイルクック方面に於ける共產本部に對し日米兩國大使を途中にて抑留すべしと訓電せし由（露都電報）

◎林公使歸任決定

歸朝中の駐支公使林權助男は諸般の打合せ終了せるに就き九日午後十時東京驛發にて歸任の事に決定せり（東京特電）

◎秋山長官著連

秋山南島民政長官七日夜著連八日正午發の榊丸にて歸任の筈なり（大連特電）

◎久保局長大連著

久保滿鐵京管局長は六日朝大連に著せり（大連特電）

◎森安博士等通過

七日朝商麗丸にて來釜したる森安博士、鮮銀營業局長吉田節太郎氏並に新任大阪商船仁川支店長心得宮地時彥氏等は何れも午前十時半發急行にて京城に向ひたり（釜山特電）

東京より　在京一記者

獨逸東漸と極東問題（二）

○我が帝國は帝國對獨根本政策の遂行上歐洲大戰に參加し、聯合國に左袒し、對獨宣戰を決行したる所以のものは、日英同盟の條文に基きたるに相違なしと雖も各聯合國が特殊の目的使命を有すると等しく、我が帝國も亦特殊の目的、特殊の使命を有するは、固より吾人の言を俟たざる也。○我が帝國が特殊の目的、特殊の使命とする所は、東邦平和の確保に在りと雖も、東邦平和の目的を遂せむと欲せば、進みて東邦に於ける獨逸の勢力を掃蕩し聯合國に對し後援の實を擧げざる可からず是れ我が帝國が青島の役を興し支那に於ける獨逸の根據地を勦滅したる所以也、我が帝國海軍が英國艦隊と共に太平洋方面に於ける獨逸艦隊を驅逐し南洋群島を占領するに至りたる所以也、聯合國と共に支那に對して參戰を勸告し、日支提携して支那に於ける獨逸の勢力を掃蕩するに努力したる所以也、聯合國に代りて印度洋、南洋及び太平洋の警備に任じ其の交通貿易を保護し、聯合國の軍隊輸送に應援したるが如き、我が帝國艦隊が遠く印度洋を越ゆて、地中海に進出し、聯合國艦隊と與に協同作戰に從事しつゝあるが如き、將た革命前に於ける露國に對し、精神的援助を與へ、又其の兵器彈藥を供給し、物資を供給し、專ら北方の警備に任じ、之をして全力を傾けて敵國と戰ふを得せしめたるが如き、亦皆東邦平和の目的を貫徹せむことを期する所以に非ざるは無し。○露國革命前に在りては、日露兩國は協商國以上、寧ろ同盟國の位置に在りし也、日露兩國は各其の任務を分擔し、一方は全力を擧げて獨墺に抗し、他方は露國の後援と爲り、東邦平和の確保に任じたりし也、兩者互に相提攜し、聯合國に對して強力なる後援と爲り、獨逸に對して堅固なる鐵壁と爲りし也、而して帝國の東邦平和に對する任務は遺憾無く遂行せられ、帝國の根本的戰略と根本的政策とは、聯合國に先ちて第一著の捷利を占めつゝありし也。○然るに、露國革命の結果として、露國が土崩瓦解の域に陷り、過激派の勢力天下を風靡し、今や社會共產主義、滔々として水の低きに就くが如く、東部西比利方面に瀰漫し、其の影響、我が接壤の地域たる蒙古及び支那の新疆甘肅方面に波及するに至りたるは、東邦平和の一大危機にして、是れ豈我帝國の根本的戰略と根本的政策とに對し、一大逆變を來したるものにあらずして何ぞや。

◎土木主任打合會（第一日）

全道土木主任打合會第一日は七日午前九時より總督府第二會議室に於て宇佐美局長總裁の下に開會直ちに日程に入り午前午後に亙り提出問題に關する打合せを爲し午後三時散會せり

□西伯利亞政府組織進行

△組織機運成熟 哈爾賓に臨時西伯利亞政府の組織せらるべき機運熟しつゝある事は事實なるが如しホルワット長官の北京に赴きたるも一面東清鐵道取締役會の件及び哈爾賓一帶の食料補充問題等に關し支那政府と隔意なき協商を遂げんとするに在りたるならんも一面西比利亞政府組織の件に關し駐支露國公使クダセーフ同公使館參事官グラベー及び駐日大使クルペンスキー氏等と內議を遂げんとするに在りたる點は殆んど疑ふ可からざる事實なるが之れと同時に駐哈爾賓領事ポポーフ氏を中心として組織及び憲法會議擁護委員會なるものゝ哈爾賓に組織せられたるが如き或は又イルクック方面の過激派軍が右の事實を探知して軍隊を哈爾賓方面に出動せしめたる際反過激派に屬せるセミョノフ大尉が直に一千の兵を率ゐ滿洲里以西七十四露里の附近に於て之を邀擊し鐵橋を破壞して遂に過激派軍の進軍を阻止したるが如き事實に徵せば反過激派が哈爾賓を中心として新行政組織を造らんとしつゝある事を知るに難からず

△今後方針如何 尤も右の如き機運は今日に初まりたるに非ず過激派の賣國的行動漸次高まりに獨逸と手を握らんとするに至りてより急に熱したるものにしてホ長官歸任の上は必ず何等かの形式に於て具體的團體組織せらるゝならんが萬一豫定通り進行せば直に臨時政府を組織し松花江及び黑龍江方面の哥薩克兵を指揮して過激派討伐の旗を擧ぐべき順序なるが如し從つて臨時政府は最初哈爾賓に組織せらるゝも其勢力漸次イルクック方面に延ぶるが如き事あらばドン地方の哥薩克軍と聯絡を取る必要上政府をイルクックに移すに至るやも知らず唯だ今日に於ては反過激派の勢力微弱にして到底イルクック方面に及ばざるのみならず極東方面に於ても多少過激派分子の潛入し居る事實あるを以て先づ第一著手として極東方面の過激派を剿滅し夫れより漸次にイルクック方面に及ばざるを得ざれども過激派反對の聲は漸次西比利亞各地に蔓延しつゝあるを以て此勢に乘じて臨時政府を組織し著々其步を進むるに於ては或は遂に其

△目的を達する に至るやも知る可からず要するに今日の所は其勢力微弱にして果して能く臨時政府を組織し西比利亞より過激派を驅逐し得る勢力を有し得るに至るや否や頗る疑問とせらるゝも右の如き機運の漸次熟しつゝあるは否む可からざる事實なり

本紙定價　△一部金二錢五厘△一ヶ月金六十錢 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible]　印刷人 小川三之助
發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社
電話番號 [illegible]

◎水産主任會議

總督府にては來る十一日より十四日迄四日間總督府に各道水産主任を召集し會議を行ふべし

◎輸移入税免除と關税收入

總督府は七日府令を發布し石炭、製鐵事業設備材料其他の輸移入税を免除することゝ爲したるが右結果朝鮮に於ける關税收入に幾許の減少を來たすべきやに就き當局者は語りて曰く大正六年度に於ける石炭の輸移入額は內地より移入せるもの二十二萬九千噸、支那より輸入せるもの三十八萬七千噸二百餘萬圓合計六十一萬六千噸三百五十八萬圓にして此税額十七萬餘圓製鐵事業設備材料は其の免税の恩典に浴すべきは目下建設中なる兼二浦三菱製鐵所のみにして仁川等にも同樣の計畫あれども規模小にして其の資格無きを以て兼二浦製鐵所にて今後計畫の完成迄に輸移すべき設備用材六百萬圓此税額四十五萬圓、同製鐵所の完成して作業開始後輸移すべき事業用品年額九十萬圓內外此税額約四萬圓に過ぎずして合計總額六十六萬餘圓に過ぎず而かも此內兼二浦製鐵所の設備材料輸移入税免除額四十五萬圓は今年限りにして向後每年關税收入に影響すべきは石炭輸移入税十七萬圓及び事業用品同四萬圓合計二十餘萬圓に過ぎざるが一方今年度に於ける關税收入豫算は大略五百萬圓にして實收は七百萬圓即ち二百萬圓の增收を來たせる狀態に在るを以て右免税の結果國庫の歳入に影響を及ぼすが如きこと無し

◎鑛業權登錄税倍額に引上

朝鮮鑛業登錄税法中改正の件は八日制令を以て發布四月一日より施行さるべきが右改正の要旨は從來鑛業權の新規登錄は每一件百圓、增區又は增減區每一件五十圓なりしを新令に依れば前者は二百圓に後者は百圓に引上げ其他字句の改正等なりと

◎朝郵橫斷航路 四月三日より開航

朝鮮郵船會社にては豫て計畫中なる北朝鮮と裏日本を連繫する日本海橫斷定期航路を愈々來る四月三日より開航する事に決定せしが初航著發日程は四月三日の夜清津出帆四日朝城津入港同夜城津出帆五日朝元山入港貨客積載の上同夜半敦賀に向ひ八日未明敦賀入港八日九日及十日同港碇泊同夜元山に引返し十三日朝元山到著十三日夜元山發城津を經て十五日清津に著すべき豫定なり該航路は目下議會提出中の朝鮮總督府豫算兩院を通過せば多分正式に總督府の命令航路となるべし而して就航船は局の命令書は二千噸級となる筈なるも船腹不足傭船料騰貴の際とて當分の間特に目下同社の所有船中より之れに充當する事となるべく貨客運賃は昨今會社にて制定中なり尚ほ該航路は一ヶ月二回半の豫定にて一年三十回となるべく往航は陶土生牛大豆材木を積載し復航は紙類雜貨等なるべきも二三箇月航海を繼續せざれば見込みは立し難かるべし

獨逸東漸と極東

△三國對日本共同提議

在西伯利亞聯合國利益保護の爲め

五日のデーリーメール紙所報に曰く『英、佛、伊三國日本駐在大使は日本が西伯利亞に於ける聯合國の利益を保護するが爲め必要の手段を取る樣依賴すとの趣旨にて四日共同提議を日本政府に致したる筈なり』と（倫敦電報）

△一語を言はせず 露遂に調印

露獨單獨講和商議は、獨逸が依然として軍事行動を中止せざるより露國側委員は遂に一語をも發する能はず而も三日遂に調印したるが勞兵會本部にては該講和條約は露國屈伏の爲め成立せしも獨逸は猶各種の形式手段を以て露國を壓迫す可きを以て三月十二日莫斯科に全露勞農兵士及び哥薩克代表者を召集し會議を開催す可しと（長春特電）

△露都上空に飛行船

死者六名を出す＝過激派政府の狼狽

露都の上空に獨逸の飛行船襲來し爆彈を投下したる爲め六名の死者と十四名の傷者を出したるを以て過激派政府は大狼狽を爲せり（長春特電）

◎乾繭器の普及狀況

朝鮮の蠶業は近時長足の進步を爲せしと雖も尙產繭點在の狀態に在るを以て繭の生產地又は販賣地に乾繭の設備を調へ繭の共同販賣を行ひ易からしむることは產繭の

▲處理を圓滑 ならしめ延て繭賣買兩者を利するの途にして實に緊要なる施設に屬す故に各道とも先年來稚蠶共同飼育所等に簡易乾繭器を配付するの外繭販賣樞要地に乾繭場を設置し或は組合に補助金を交附し其設置を獎勵する等大に乾繭設備の普及に勉むる所あり一面地方に依ては組合にして自ら乾繭の設備を爲す者漸增するの趨勢に在り大正六年八月現在に於て官署又は組合等の設置に係るもの一千五百四十六箇繭購買者等の設置に係るもの四百三十八箇合計一千九百八十四箇を算す

▲前年に比す れば前者に於て百七十五個（一割）を減少せるも後者に於て三百九十六箇（九十四割三分）を增加したるを以て結局合計數に於て二百廿一箇（一割三分）の增加を示せり次に乾繭器の大さは一回の乾繭量最小一斗入より最大六十石入に至る五十三種あるも小規模のものは漸次其の數を減じ大規模のもの逐次增加せむとするの趨勢を呈せり是等乾繭器の一日の乾繭量は合計七千二百二十石にして前年の三千六百七十一石に比すれば九割六分を增加し大正六年の春蠶繭產額七萬八千石は僅々

▲十一日間に て乾繭し得べき計算にして以つて其の發達の顯著なるを知るべし然れども是等乾繭器の普及狀況を見るに平南、咸北、江原、咸南等の如き產繭額に比し其設備の甚だ貧弱なる地方あるのみならず其構造の如きも概して粗笨にして器械力を應用せる完全なるものの少く熱源は槪ね炭火に取り而も直接熱に據るもの其大部分を占むるの狀況にして乾繭の成績は大體に於て逐年良好に向ひつゝありと雖之を完全の域に到達せしむるには前途遼遠の感あり將來

▲乾繭設備の充實を圖る と同時に乾繭製產の改良に一層力を用ゐ以て乾繭上遺憾なきを期せざるべからず

◎最近京城貿易

客月中に於ける京城貿易出入重要品に就き京城税關出張所の調査に據れば輸移出品價合計二十九萬二千六百四十二圓、輸移入品價合計百六十八萬九千三百六十五圓にして之を前月に對比すれば輸移出品價合計に於て九萬六千八百餘圓の增、輸移入品價合計に於て七萬五千二百餘圓の減少を示せり而して之を出入品價總額に就て見れば前月に比し約一萬圓の減少に過ぎず、而して當月中出入品の重なるものは輸移出品に在りて煙草の七萬六千餘圓牛皮の六萬九千餘圓、重石鑛の三萬九千餘圓、大豆の二萬一千餘圓米の一萬六千餘圓等にして輸移入品に在りては生金巾及び生シーチングの七萬八千餘圓、晒金巾及び晒シーチングの三萬一千餘圓綿織絲の五萬九千餘圓、洋紙の七萬四千餘圓、其他の紙類十一萬二千餘圓、粟の五萬三千餘圓、砂糖の四萬一千餘圓、煙草の二萬六千餘圓、諸器械類の三萬三千餘圓等を其の主なるものとせり、大體に於て前年同期に比し粟、小麥粉等米麥代用品と言ふべきものゝ輸移入增加せる傾向あるは面白き現象と見るべし

◎製鐵所事業開始期

工事中なりし三菱兼二浦製鐵所は目下熔鑛爐九部方出來したるが梅野所長の談によれば事業開始は來る五月上旬頃なりと（兼二浦）

◎鄭家屯鮮銀披露

鮮銀鄭家屯出張所にては五日六日の兩日鄭家屯日支官民百數十名を招待披露宴を張りたるが開原出張所長後藤登丸四平街出張所長伊藤信郎の兩氏は披露宴應援のため同地に出張したりと

▲成績如何 鄭家屯鮮銀出張所の開設後に於ける成績は一般より頗る注目され居れるが其の同地民の氣受けの好良なるは勿論第一日には日支預金寄託者甚だ多かりしと雖未だ銀行券發行の成績並に爲替貸出し等の狀態については本店にも報告なしと

◎金久保少將動靜

步兵第四十旅團長金久保少將は七日催さる大邱步兵第八十聯隊將校下士卒の銃劍術競技會觀察の爲め六日午後四時九分大邱驛著列車にて來邱八日歸任の筈（大邱）

◎持地長官出發

持地遞信局長官は永井書記を隨へ七日朝京城出發平壤、鎮南浦、兼二浦、新義州、安東縣等を經て岩浦營內に於ける遞信狀況視察の爲め出張せり來十七日歸任の筈

◎青木課長消息

滿洲及支那へ出張中なる青木農務課長より農務課に達したる四日附大連發通信に依れば七日正午頃青島著の豫定なりしも青島天津は肺ペスト流行の爲め交通杜絶の狀態にあるを以て或は奉天より逆轉するやも知れずとありと

◎吉田局長著任

朝鮮銀行營業局長吉田節太郎氏は東京出發後郷里福岡並に廣島を經七日午後九時南大門驛著列車にて來城同伴著任す

◎施政年報刷成

朝鮮總督府施政年報（大正五年度）は此程刷成りたるを以て各方面に發送しつゝあり

人事消息

▲神田鏆藏氏（實業家） 七日朝入京天眞樓

▲吉塚月香氏（實業家） 同上

▲南場之助氏（鈴木商店員） 同上

▲勝田信德氏（實業家） 七日夜入京同上

▲朝倉傳次郎氏（滿鐵社員） 七日朝元山へ向け出發

彼れ此れ

◆東京帝國ホテルに、多數の邦人宿泊し、吳越同舟の觀あり、我が國政府より、過激派政府より、[illegible]大使の命を受けしも、未だ赴任せざる、コンラードの、秘書役たるべき、ウオルドスあり。其の得意の絕頂なるが上に、時々反過激派を壓迫するや、反過激派にして、帝政時代の露都の某銀行頭取をなし、[illegible]の代議士チヤリコフ、非常に立腹す。○彼や頭腦明確、頗るの雄辯なり。過激派を罵倒して曰く。ウオルドス如き者ぞ、嘗では郵便脚夫たりしに非ずやと。○過激派と反過激派の間、略察するに足らむ。

◆海軍次官栃內中將、終に右眼の明を失ひ、最早司令官として將來海上の勤務に服し難しと。○中將は日露の役に於て、將又今回の大戰に於て、殊勳を奏せし人也。我海軍多事の秋に於て、此の提督の失明は、國家の爲、少からざる損失たり。

◆近時中學生の、風紀の紊亂せるは、憂ふべし。山口縣にては、數十の學徒、校長の邸宅及び學校の銃倉庫を襲はんとし、旅順にては、鐵拳制裁なる暴行をなし。九州にては、萬引をなし長崎の一學生は、遊蕩の爲、短銃强盜をなす。○家庭の罪か、教育者の罪か、將又社會の罪か。何にしても寒心に堪へざる也。

[illegible]

十一月一日現行

●侮り難き反過激派 西伯利亞臨時政府

―哈爾賓に樹立されんとす―

◇名將ブルシロフ將軍陸相たらむ◇

本社七日朝刊所載リヴォーフ公以下が極東臨時政府を組織すべしとの奉天特電につき某消息通は曰く『最近反過激派の人々が滿洲及び沿黑地方を中心に行動してゐるのは事實である、電報の如く假に臨時政府を建設し得るか否かは疑問だが漸次に

◆西伯利地方 に反過激氣分が勃興して來る樣だから或は其の勢力が漸次に擴大すれば哈爾賓へ臨時政府の建設も困難ではない、軍事的に見ればブルシーロフ將軍は陸相の下に次官に任命されると傳へらるるセミヨノフ大尉が最近滿洲里驛辨多方面に

◆反過激軍を 起し哥薩克兵を集めて過激派と鬪つてゐる、此のセミヨノフ大尉はまだ卅歳前後の青年であるが現に日本へ來て居る哥薩克騎兵大尉のグフチエンコ等を派遣して東京に在るヤホントフ少將アンダモウイツチ少將其他の反過激派將校と聯絡し武器及び或種の策動をさせて居る位で滿洲の哥薩克間に相當の根據を有つてゐる、ブルシーロフ將軍は開戰當時の

◆南露總司令 官でガリシアに大捷し四十萬の捕虜を獲た有名な武將にてコルチヤーク提督とは革命當時に黑海の總司令官でケレンスキー內閣の頃黑海で過激派の騷動が起ると共に米國へ特使として赴き昨年の暮に日本へ來て一ケ月ばかり橫濱に滯在し最近滿洲に入つた人である、是等の人が反過激派の中心となり革命當初の穩健派の

◆リヴォーフ公 ロツヂヤンコ等と策應し滿洲西伯利を根據に反過激の旗幟を飜す計畫は事實であらう、莫斯科、小露西亞方面のカレーヂン將軍等の反過激軍と巧く策應すれば大きな勢力となるかも知れぬ、唯困るのはセミヨノフ等の軍は武器が足らぬ樣だし將校は澤山居るが兵隊が皆過激派へ走つてしまつたので

◆弱つてゐる らしい、此穩健派の勢力が西伯利を支配する樣にでもなれば日本には結構な事である

◎西伯利亞脫出の 獨逸俘虜

北京に逃げたか

六日朝吉林より來遊したる某氏の談に曰く『曩に西伯利亞を脫出せる十名の獨逸俘虜將校は二月末支那兵看守の下に吉林に押送され同地俘虜收容所に收容されたるが內二名は此程再び脫出し巧に蹤跡を晦ましたるより日支官憲協力して搜索せるも未だ逮捕に至らず或は京奉線にて北京に入りしには非ざるかと偁關東州は外人旅客取締嚴重なる爲め同地に入り込みたる形跡なし、彼等は多額の旅費を持たざるより遠く逃走する事なかるべきも萬一鐵道破壞等を企てざるやと各地に於て嚴重搜査中なり』(大連特電)

◇西伯利亞臨時政府の中堅たる 隻脚將軍ブルシロフ

露國新政府西伯利亞に組織せらるゝも其の權威を行はんとせば今や武力の如何にあり而して武力は武器の有無に存す新陸相としてのブルシロフ將軍の胸中果して如何の名案ありや

◎京都贈賄事件 控訴判決

京都奧村商會贈賄事件は六日京都地方裁判所にて控訴判決あり被告人中の宮庶務課長刑減して一箇月となりしのみにて他は悉く控訴棄却となりしより更に上告の手續を爲せり(京都電報)

◎平沼總長曰く

―重大疑獄事件に就き―

九州を中心とせる重大疑獄事件は六日朝一切の記事差止めを解除されたるが、平沼檢事總長は曰く

◆九州には 鐵道院、製鐵所、鐵務署の問題あり而して鐵道關係事件は殆んど豫審終結に近づきつゝあり、東京方面は五日發表せるもの、他には無く、其他に取調べたるものもあれど殆んど福岡の方へ送附せり然し今後猶突發するや否や今日斷言するを得ず、增友の事件は今猶取調中にて其內容を語る時期に達せず押川に關する豫審決定に就ては別に語る可きものなきも誠に困りたるもの也押川邸の

◆家宅搜索 を行ひ證據を囘收し居る如く傳ふる者あるも其は誤なり、押川の收賄せる一萬餘圓の公債證書は是れを沒收するが如き事無し又田中省三を東京にて取調べたるは最初大崎の自邸にて賄賂したりとの事なりしを以て也(東京特電)

◎貨車機關車 四輛顚覆

又復京釜線の貨物列車脫線

七日午前零時二十分大田驛を發車したる南大門行第三十七號貨物列車が同日午前二時三十分頃

▲小井里驛 を通過せんとする際如何なる機みなりしか轍轍器の箇所に於いて機關車及び貨車四輛突然脫線しその內機關車及び貨車三輛は顚覆し乘組の見習火夫某は頗る刹那輕微なる打撲傷を負ひ右の急報大田驛に達するや直ちに工夫を派して

▲假線の敷設 に着手し八時卅分頃開通するに至れり右につき鮮滿急行列車は大田を三時間十九分延發して南大門驛に九時四十分到着し普通急行列車は二時間三十八分延發して南大門驛に十二時到着せり而して鮮滿急行は九時五

◎爆藥破裂 技手重傷を負ふ

―慶北警務部の椿事―

去る四日午前十時頃慶尙北道警務部技手松田卷平氏が東坂助手と共に同部衞生試驗室に於て義城警察署より送附し來れる鮮人間に於て獸類捕獲に用ゆる爆發物を試驗中如何なる機みにか該爆藥は俄然一大音響と共に爆發し爲めに松田技手は左眼角膜及び其他全身十數個所に重輕傷を負ひたり、急報に接したる大邱憲兵隊附岩田軍醫は直ちに現場に驅け附け應急の手當を施したる上早速大邱慈惠醫院に入院せしめたるが幸び生命には別條なかるべきも左眼は失明するに至れり(大邱)

◎中學生の 拳銃强盜 拘引さる

去る一日長崎市本紺屋町紙商井上某方へ忍び入り夫婦に猿轡を嵌め金百八十圓と金指輪三箇を强奪し去り又其後諸所にて屢々拳銃若くは短刀を以て强盜を働きし兇賊は長崎中學四年級生久保武男と判明し長崎署へ拘引さる窃取の金品は同市丸山遊廓等に費消せり(長崎電報)

◎下水溝の蓋を盜む

六名逮捕さる

近來京城市中にては金屬製の器具を窃取さるゝ向き多く爲めに一般家庭にても警戒し居れるが最近にては公共建物或は道路に設置されある金具迄も剝ぎ取る曲者續出しつゝあり中にも京城府の所管に屬する街路

▲下水溝に 覆蓋し在る重量七八貫目もある鐵製の溝蓋を窃取さるゝこと頻々たるより其の筋にて犯人嚴探中此の程本町警察署に逮捕されたり取調べの結果曲者は芳山町九十九番地居住の徐仁淳(三七)同所趙庚九(三七)と言ひ兩名は共謀し一月二十四日以降に深夜黃金町五丁目にて

▲溝蓋四枚 目方二百十三斤(價百三十九圓)を持ち去り之れを鍾路五丁目の古物商鄭泰榮(三三)に情を明て十餘圓に賣却し他の一は舟橋町居住の車聖均(三二)と鍾六丁目金致玉(三四)の兩名にして聖均は溝蓋三枚致玉は黃金町五丁目にて同じく二枚(價四十八圓)を窃取し是れを携へて芳山町の洪在利に情を明かして賣却したるものにて前記六名は悉く逮捕取調べの上身柄は檢事局へ送られたり

記者の手帳より

▽返り咲(上)

―京城券の某年增藝者の告白―

慾と二人連れ

南山町の夜はさんざめきの音に次第に更けて、絃歌の聲がしらぎが幽かに夢のやうに湧いて來る、該某樓の奧座敷には客と藝者の差向ひ、酒と白粉の爛熟した甘い香の中に浸つて華やかな電燈の光に錦紗のやうな濃厚な情調を漂はせて居る、客は盃をグツと飲乾して藝者に獻し乍ら

『こゝで逢ふとは全く意外だつたれ、一體君はアノ中尉に落籍されたのぢやないか、ソレに又何うして藝者になぞなつたんだ』

□　□

藝者はもう三十に近い年增、黑縮緬の羽織の肩は態と𨻶らして未だ何處やらに仇つぽい風情を見せて居るが、荒んだ皮膚の色が過去の苦勞を語つて居る、京城券の△△と云つて一時は京鮮のさる遊廓在地で鳴らした女である

『ソレがですね、まあ聽いて下さいな、斯うなんですー』

藝者は一寸酒に舌を潤ほして己れの過去を彩るローマンスを語り出した

『今考へるとアノ中尉さんには眞實に濟まないと思ふのですよ、一年も二年も關係があつたのなら未だしも、たつた一月ばかりでしやう、ソレに中尉の癡腕で………と云つては失禮ですけれど眞實ですものね……五百圓と云ふ大金を投げ出して落籍して下すつたのですもの、浮氣や醉狂でコンな眞似が出來るものですか、此方さへ愼んで居れば今頃はもう立派な中尉夫人ですよ……』

藝者は淋しく笑つた、客も笑つた、そして笑つた客は、揶揄ふやうな口調で斯う云つた

『好きな中尉は妻子持ちと來たね、細君は慾が深か過ぎるぞ』

『アラ混つ返しちや嫌よ、乘りかゝつた船で斯うなればもうザツクバランに喋舌つちまいますからサ、ところでソノ中尉はソレから間もなく聯隊の方へ轉任になつたのです、其時妾も一所に行けば好かつたんだけれど何しろ相手は牧師の仰る通りの妻子持ちでしやう、ソレも面白くないからと云ふので、妾は一時田舍の料理屋から自前で出たの、之が抑も過失の因で妾は其料理屋で稼いで居る中に京城から來た請負師と關係したんです、まあ浮氣女ですつて、眞實ねね……けれど之も詰りは慾と二人連れでした事なのよ……』

●魚類は 幾分多くなつた

入荷が尠いため騰貴した魚類も三月に入つてから南鮮方面の漁況も稍色めいて來たため幾分緩和されたが漁模樣である南鮮方面の漁況を聞くに、久しく不漁續きであつた迎日灣の

◇鰊が非常に豐漁◇ で二月初旬頃は四五萬圓以上の漁獲があつたと言ふ鰊の終漁期は三月末頃から四月初旬頃まででもう一時程の水揚もないらしいやうである

◇鯖も成績が宜く◇ 漁は慶尙南北道沿海に於て頗る盛んなものであるが最近の報告に依れば香川縣出漁團の平均漁獲高はシボリ網、一網で一萬圓以上に達したと語つたがこれから暖かさが加はるに隨つて鯖や雜魚がどしどし水揚げされる

◇南鮮鰤も四月頃◇ からは漁獲が增すであらう八十八夜前後からは仁川群山沖から所謂仁川鯛が漁れ初めるから魚類の少いのも茲一箇月位の間であらうさうだ

◎味噌値上 百目に付五厘

京城の味噌小賣値段は是迄百目六錢の相場であつたが十日より百目に付五厘方値上げをなす由で昨年の今頃に比すると二錢も高くなつた原因は米及び大豆の騰貴によるさうだ

容姿花の如き 美人間諜(三)

美人間諜露國皇妃附女官となる‖流刑より歸つたラスプーチン‖ニコラス大公を西伯利亞

ラスプーチンの流刑も一時的であつた呼び寄せられた其れと入れ違びにニコラス大公は高架索の方に移されたが之等の處置は總て皇后の方から出たものであつて云はゞニコラス大公に對する復仇であつた事は分明である其の中夫人は一度露都を去つたが更らに再び

◇獨逸政府 の命令で露都に歸はれる事になつた今度は露國皇后附女官として宮廷に入り込み佛逸の獨逸間諜を監視する役目であつた夫人の女官としての位置は獨逸皇太子妃セシールの親戚で當る人

◇露國宮廷で勢力並なき或人の盡力に依つて獨逸の秘密外交の網は最早宮廷に張り廻されて殆ど獨逸政府の直接監視の下にあるかの觀があつた當時露國の宮中ではラスプーチン位勢力のある者はなかつた彼の言として行はれざるはなく彼の意の動く處必ず成就せざるはないと云ふ有樣で殆んど

◇宮中隨一 の權勢家であつた勿論彼れとても既に夫人等のあるは知つてか知らずでか自ら走狗となつて居た卽ちラスプーチンを通じて皇后に皇后を通じて露國の軍事外交政策を動かす事も容易に易々たる事であつた若しラスプーチンが居なかつたならば

◎露國の大軍は東普魯西に根據を据ゑて居た

地と雖も動くのではなかつたであらう而して獨逸は露國の大軍を波蘭から追捲ることも出來なかつたであらう而して彼を通じてスホムリノフ將軍を陸軍大臣に頂く露國の陸軍省をも支配する事は却々出來なかつたが何故に斯る怪僧ラスプーチンが

◇大勢力を 得たかに就ては露國は半迷信國であると云ふ事を說明して居る露都に於ける所謂貴族階級なるものは大部分及び有産階級の全部は半迷信の徒である

◇神託と云ふを信じ(神託に瞞着する人間で)……

ラスプーチンの活躍を紹介せう

◎矢野家畜院移轉 大阪府立農學校獸醫科卒業以來多年大阪、神戶、廣島、仁川等に於て家畜の診療に從事し居たる獸醫矢野平氏は……京城本町四丁目に移轉し……家畜の診療に從事……

◎取消 先月二十二日本紙掲載全州農工銀行長朴永根氏の自殺未遂に關する記事は事實相違の由に付き取消す

讀者文藝(一等には五十錢の書籍切手を呈す)

▲下句付『うれしきは●●●●』

○うれしきは圓かな妻の醉の顏　淸州　曲黑號一

(一等)

▲……　舟橋町　正一

▲……　明治町　來朝生

▲……　京城　瓢智

▲……　鳥致院　拔天生

▲大丸髷に結ふた……　京城　枯庭庵

▲晴衣眺める……　龍山　多美郎

□募集規程

▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は住所氏名明記の事▲一等……

課題及募集規定

大阪期米

△七日前後 入電にて當三十五錢中三十七錢先八錢七錢八錢七錢三節五十七錢八 五十六錢より八錢あつて七錢四節 …… 中四錢先五十七錢八錢より六錢四 五十六錢五錢六錢七錢六錢七錢六 ……

平均値段 一節 …… 二節 …… 三節 ……

◎宿錢が無くて 大分縣東國東郡武松町生れの山崎逸藏(二三)……

天氣

晴 一時曇り (七日午後六時迄)

商況

東京期米特電

七日前場 一節 二十六圓五十二 二節 二十六圓五十二

兵庫期米

七日前場 先限寄付 二十七圓二十 二節 二十四錢

大阪三品特電

……

大阪株式特電

……

大阪期米特電

……

下關期米特電

……

げ買進むの現狀なるを以つて勢ひ相場もヂリヽト同昨今にては問屋買入れ値八十八錢迄上り近かく一圓を摩せんかの勢ひ也

●內地洋紙市況

二月以來低落せる印刷紙に於ける一部思惑連の買進みにて市場漸く活氣付き來り三月に入りては一般に需要增加せしより減切活氣付き何れも五分乃至七分の上進相場を實現するに至り就中板紙類は輸出の呼聲と現物薄とに一般の頭氣を唱へエー印白は廿圓方エー印茶は廿圓方ビー印白は廿五圓方何れも十三圓方躍進しザラ紙類はマニラボール上物十圓方昂騰し印刷紙亦各一封度に付一齊に二十錢方の上進し雜紙類も幾分の昂騰を告げたるが月末迄には尙一層昂騰を告ぐるならん勢ひ也

下關相場

▲朝鮮米は强硬 其後白米五千八十五叺の廻著に過ぎざるのみならず依然產地商不引合を楯に各米主の意嚮强きに依り相變らず人氣强硬を極めたり

▲大豆は依然强硬 其後宮川物百二十六叺ボアン物百五十叺天安物三百八十二叺水原物六百六十三叺白川物三百九十六叺等の輸入ありしが大抵先約定物にして賣物薄の折柄產地の如き益々好況を傳へ一層不引合なる勞各商主の意嚮强きに依り相變らず人氣强硬を極め元田並上六百叺二十圓五十錢に同上品四五百叺は二十八圓八十錢に同大玉上品二百叺は二十二圓に京釜線物三百八十六叺は二十……

仁川期米

▲七日前場(反撥高)

△第一節 兵庫二十六圓二十錢大阪天候晴天前寄二十六圓三十二錢と昨止り十七錢先二十二圓四十五錢高の入電にて當限は五錢と七錢高に寄付きたるが買物多く三錢と押したるも押目は又買物頭はれ六錢と返して引

△第二節 當出來不申中二十七錢より九十錢に跳ね八錢先四十六錢より六錢引より買物多く八錢引

△第三節 大阪二節三十六錢三節三十八錢東京五十二錢兵庫二十四錢下の關二十三錢の入電にて當二十二圓四十錢中三十錢より十一錢と跳ね三十錢先五十一錢と押し一錢引

△第四節 當出來不申中三十三錢より三錢と上伸し一十錢先五十二錢より二錢と辷り四錢と跳ね三十錢引

△第五節 當二十五錢より十三錢引中三十三錢より一錢引先五十四錢より二錢と押し物漸く多く一錢と押して强硬の成行を示して散會

▲七日前場 當限三節二十二圓四十錢五節二十五錢平均値段三十錢 △中限一節二十七錢二節二十八錢九錢八錢平均値段三十錢 △先限……平均値段三十一錢

保合ならんとの觀測多し……

●雜報

●絹絲布昂騰

三品市場は益々好勢にして今前場は當限三百五十一錢昨後場止めより五十七圓六圓先三百六十圓五十五錢乃至八九圓方の昂騰を報じたり現物及綿布電報來著なから之れに連れ何れも好氣配なるは否むべからずとて當市況も更に活氣を加へ來れり

●正米荷著く

正米は前日來同樣値頃行間へ模樣にて精米口及思惑助一齊に買控ね此處何れも傍觀の態度にて市場商內又尠なしから玄白米共に今朝は總て持合風情にて人氣愈々落付たり

●大豆は又暴騰

大豆は既報の如く買人多くして品薄の爲め本日は又々五十錢方暴騰し上品十七圓中十六圓七十錢唱へとなり市況益々活況を呈せり

●小麥粟小弛む

支那粟及び小麥は過日來稍々行過ぎの觀ありて漸く人氣下火に向ひ相場も粟上三十圓三十錢小麥上十七圓八十錢次十七圓三十錢と各約二十錢方弛みたり

●石油空鑵漸騰

石油鑵は大連輸出益々盛んなると水飴製造業者の需要も又少なからず之が爲め地方よりの入品相當にありと雖供給尙足らず必要口は自然値段を釣上……

南大門の廻穀

平澤玄米八三叺、平澤玄米一七九叺、宣川大麥二八叺、平澤玄米四一叺、仁川白米一二九五叺、仁川玄米二五六叺、仁川白米八六叺、平澤白米一一一叺、仁川米一五四叺、仁川玄米二一四叺、義州白米……、鳥致院粳三四叺、義州大豆二六八叺、仁川玄米三二叺、商梁四四叺、南市糯三二叺、瑞興小麥三三〇叺、鳥山白米一一五叺、南川黍二八叺、砂里院黍一五〇叺、開城玄米三五叺、南市糯二二叺、鳥山白米二二叺、興水綠豆四六叺、仁川玄米三五五叺、五叺等なり

保安東縣花小豆三百五十入著したるは北海產九百叺ときとろに依り市況弛まず地との比較上安くは手放さず行きに過ぎざるも何分產品は依然小口弗々の賣れ

▲小豆は格別狂はず本り限先き尙ほ强人氣なり

市場雜觀

▲昨後場は大阪前場六節二十三錢以後入電なく二十二圓三十七錢と二錢安に寄付き五錢と押したるも押目は買物多く入錢と返し保合の折柄大阪前止三十錢の入電に買物多く四十三錢と返したるが戾りは又賣物頭はれ大阪後寄三十三錢三節三十七錢東京五十一錢より四十七錢兵庫二十二錢より二十一錢の入電に三十三錢と崩れたるも山アの目先買け散會當限は二十二圓十八錢より二十三錢先限は二十二圓二十錢より三錢と散會

▲引跡大阪止二十七錢兵庫十八錢下の關二十八錢の入電に接したり昨場以來場面樣替りを呈したるが山アの腰入に强硬にて遂に一部の投げを招致したるが山アの例の巧者商內にて跳ね返し結

仁川正米

▲粳の入津弗々あり氣配は保合を唱へ居れり ▲正米は昨午後滿商內の裡に地場上二十一圓八十錢迄三等合格品二十二圓四十錢より上四十五錢にて出來たり今朝來保合

仁川米豆取引所

七日の五月限

出來高 …… 高値 …… 安値 …… 止メ値 ……

仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎 仁川濱町三丁目 電話長六五番

仁川米豆取引所仲買人 田中金兵衛商店

仁川期米 △七日後場 大阪電報未著にて中二十二圓三十三錢先五十三錢と同時に寄付九錢と錢ね六錢二節大阪上寄跡小安き [illegible]十七錢三節四十錢 ▲先限一節二十二圓五十二錢三錢四錢三錢五錢三錢五錢六錢七錢八錢七錢八錢九錢二節五十六錢七錢

後場 寄付 二十二圓五十七錢 止メ 二十二圓五十九錢 高値 二十二圓[illegible] 安値 二十二圓五十二錢

燐寸工場

◇五月には完成する◇

◇箱貼益々多忙◇

操業開始すれば約二百二十名の職工が要る

朝鮮燐寸會社が仁川に營業の看板を揚げて以來早くも半歳になる世人は仁川で起す作業が何時になるかと鶴首して待つてゐたが今や漸やく其の時機に到達した假に敷地の選定をして解氷を待つてゐた會社では愈々松村里の敷地に工事を初めて早速に進捗を計り來る五月迄には其の工場の完成を期して遲くとも同月末からは操業を開始するの運びに至らすと

◆急速に著手 せられた勿論既に總べての計畫が整ひ工場建築の如きも何等の支障なく段取りが濟むで居るので著手すれば譯なく完成する事が出來るとの事である工場用機械類も既に大阪を發送せりとの事なれば近々に仁川へ到著すべく其他製造に要する諸材料は今や燐寸會社の建物の中には所狹き迄に詰め込んである然らば

◆操業開始 と共に幾何の燐寸を製造し之に要する人員其他材料があるかと聞くと普通燐寸を詰める即ち箱に入れるには一人前先づ二千五百乃至三千個を詰めるが之が大阪に於ける内地人の熟練者の標準であるから仁川では先づ多少の練習を積むで二千と見れば差支へない之を以て初めは一日の

◆製造十噸 位を出す豫定であるから少くとも百以上百二十名の從業職工を要するのである工場の建築は最初一日の製出約三十噸位ゐの能力を具備するが五十噸の製出を爲すのは決して遠い事ではないと然し作ら事業に熟練なる職工に俟つ者多きが故に漸次之等の職工を養成して十噸は二十噸となり又三十噸五十噸と增加を計るの豫定であると此の燐寸の

◆十噸二十噸 と云ふ數量は果して普通使用の燐寸が何個位ゐに當るか其數量は直ちに今日一つ一つに人間の手に依つて貼つて居る所謂燐寸の箱貼りに大いに關係がある現在貼つて居る箱は黄燐燐寸で一噸貨に一萬四千四百個に相當するそれが製造開始の其日から十噸を作ると云ふから十四萬四千個を作る事になる更らに日を經るに從つて其の能力が

◆增大したら 此の多量の燐寸箱を如何にして作り合はするか今出來て居るのは事務所の階上に山と積まれて之も莫大な數量に昇るが何樣一日十四萬も十五萬も製造する事になつては纖弱い婦人や小供の手先で一つ二つの内職氣分で作つてゐた日には間に合はぬ事になる會社で將來此の箱貼りは請負にするとの事であるが先づ現在の製造能力を調べてみると

◆一日の貼高 は矢張り二千五百個も貼る者があるが普通二千或ひは千五百と見れば至當かも知れぬ鮮童の四五日練習に來た者さへ既に一千以上一千五百個は出來ると云ふから熱心家には優に二千の仕事が出來るのは請合であるから先づ一人前二千として一日の製造高十五萬個と假定して八十人の内職者を要する譯になる而も毎日作業に馴れるに從つて製造能力は增加するのであるから

◆勢ひ箱貼 りも出來るだけ擴張して多數の内職者を得なければならぬ事になる仁川の細民にに取つては此の位ゐ豐富な内職の路は他に無いので僅かに鮮人の貧困者に取つては此の上ない救濟の福音であるのみならず一般薄給者の家庭には最も適した内職であるに相違ない現在貼賃は幾らかと謂ふと一千貼つて十五錢に相當する材料は勿論會社から給與するから何も資本が要らぬ

◆一日二千個 貼れば三十錢に當る此の二千位ゐは少し馴れたら譯はないと云ふから婦人の内職としては可なり有望であり鮮人の家庭で二人も此の内職に從事する者があつたら飛だ成金に成らぬとも限らぬ何にしても仁川の爲めに最も喜ばしい事である(仁川)

吉林炭田眞相

吉林省城の北東約百支里烏拉街の東北約四十五支里缸窰鎭を中心とする地方は即ち缸窰炭田にして舒蘭縣下にあり此處に通ずる道路は吉林より烏拉街を經由するものと吉林より窰什哈站に出で、北行するものとの一線あるも烏拉街經由の方地勢平坦にして大東を通行せしむることを得べし而して炭坑は煤窰、西溝、小頂子、閻家溝、大石頂、牛栽河、二道河との諸窰に分れ煤窰は其の起原沿革最も古く官營にして規模亦大なりしも地下水の貯滯するに逢ひ排水困難の爲め現今之を廢せり其他稼行中のものは西溝、小頂子、閻家溝の三箇所にして一日の出炭額七萬乃至八萬斤なるべしと本炭田の産炭は粘力强からず又炭化作用未だ新しき褐炭に屬すべき種類にして火力の强烈を要する機關燃料としては不向なるも一般の燃料としては燒鍋若しくは油房には格別の差支無く山元附近に於ては相當賣行ありと

滿鐵豫算完成

◎川村理事携帶東上

既報の如く滿鐵會社豫算案は愈々二月二日を以て完成三日川村理事携帶東上したるが該豫算案は一月十五日滿鐵職制變更前に於て各課より提出要求したる處なるを以て該豫算實施に於て其の費目を改訂せざるべからざるもの多きを以て提出豫算案費目は目下組更を急ぎ整理次第主務省の許可を得る筈なるが豫算の大體に於ては大差を生ぜざる事勿論なりと

滿鐵監査規定

過般滿鐵分掌規定改正の際新設されたる監査課事務規定は今回新に定められたるが該規定に由れば其の監査事務の範圍は金錢物品の會計、財産の整理、工事其他作業の適否、背規又は不正事項の有無、業務分擔及び執務方法の適否、經營方針の當否、事業施設の効果、會社機關の連絡調和等を主なる事項とし滿鐵會社内部の他に於ても會社が補助金亦は特約保證を與へ出資又は資金の貸付を爲したる者の業務に對しても法令又は契約に基き同じく監査を行ふべしと

人夫著く拂底

歐洲戰亂勃發以來殊に昨年來より滿洲に於ける勞働者の拂底は其の極に達し今や漸く勞働問題各地に喧しく斯る狀態なるを以て近時撫順炭坑の如きも人夫の供給捗々しからず隨つて採炭量の減少を見るべき狀勢にて一般經濟界に尠なからざる打撃を與へ居れるが之等滿洲に於ける鑛業及び工業界の人夫不足は延いて朝鮮に波及し勞働賃金の高率なるは勿論目下に於ては勞働者を取扱ふに至難の聲高く平壤鑛業所の如き常に勞働人夫の移動を來し作業上尠なからざる支障を生じ居れりとの事なるが是は要するに滿洲各方面より高賃率にて人夫を雇聘するに起因すべし

順安の鑛業熱

◇外人の大規模經營說◇

平南順安地方に於ける此時鑛業界は解氷と共に益々殷盛を極めつゝありて活氣横溢の狀勢を示し居れり尚新に某國人經營に係る大規模の採掘起業せらるべく噂せられ居るのみならず既に外人の同地に入込み東奔西走何事をか計畫を爲しつゝあるを以て一般地方人は注視怠りなきも或は向後に於ける同地鑛業界は一大飛躍を試むべしと期待するもの多く鑛業熱は益々旺盛を極むるに至れりと

汽船の初入港

大同江の解氷と共に愈々鎭、航路開け鎭南浦汽船株式會社の所屬汽船江風丸は三月五日午前七時乘客、貨物を滿載して兼二浦に入港したるが之れ本年の汽船入港の初とす

禪林佳話

=不動如林=

◇上杉謙信の事◇

◇兵法に『動かざること林の如く疾きこと風の如し』とあるが恰も上杉謙信の兵を用ゆることが、眞によくこの語の活例であつた。其始めて疾風の如き活作用が望まれる動著なき心膽あるものにして、始めて彼れがこの縱横の活作略は、禪の修養から得た力が大なるものであつた。

◇彼れは少壯より兵馬倥偬の間を馳驅したのであるが、寸閑を見ては、諸山の禪僧を集めて心要を諮ふことを怠らなかつた。彼れが春日山林泉寺の宗謙禪師から大鐵槌の一間に壓倒されて平生の驕氣は何の役にも立たず、彼れが我慢心の蔓は根から刈り拂はれ、一代の快傑輝虎も、此に至つて半言隻句も出です、殆んど長縮してしまひ、冷汗の背に下るを覺ゑなかつた。その後彼れは精進參叩して益々心膽を錬つたのである。

◇彼は臨終に於て「一期榮華一盃酒。四十九年一醉間。生不知死亦不知。歲月只是如夢中」の辭世を遺して此世を去つた。

◇俠骨鋼鐵の如く、銳機剃刀の如かりし痛快男兒の上杉謙信が、その心膽を養ひ來れる所由を知るべきである。

大同江鐵橋工事で地價俄に騰る

◆坪四五錢の土地が五十錢に◆

諸工業界の勃興と共に益々發展しつゝある平壤は既に明年度より起工さるゝとの大同江鐵橋の橋筋と世評されつゝある公表に接し港町對岸大同郡各地面殊に鐵道驛通り對岸停車場通り對岸等の地價は著しく暴騰し從來坪四五錢の地も今は五十錢を唱ふるに至れり

鐵道便と苦情

◆貨物の延著と拔き取り◆

兼二浦に著する貨物は兼二浦の發展と共に著しく增加し一箇月約一萬五六千噸に達する盛況なるが貨物の種類は主として三菱製鐵所工事用材料を除きては白米引越荷雜貨等にて就中平壤よりの貨物は其の大半を占め居れるが貨車繰の順調を缺く結果近々二時間に達すべき近距離にあり乍ら平壤より貨物は二日以上を要する有樣にて青物の如きは中途に於て腐敗するのみならず拔取行はれて商人の苦痛は一方ならざるものあり今後兼二浦の發展に伴ひ貨物の入荷は勢ひ大增加を來すべければ其筋に於ても周到なる注意を要すべきなり

鬼か……蛇か 實子を灰の中へ

◇生き埋めにす

平南德川郡豐德面松亭里農李基瑞(四三)は附近の金炳玉(三三)と云ふ一寸垢拔せし女と情を通せし處不義の種を宿し昨年十二月十六日嬰兒を分娩せしも世間の手前養育もならず無慘にも現在の實子を大火鉢の灰の中に生埋めになし殺害して何喰はぬ顏して居たるを德川憲兵分隊の探知する處となり兩人共自宅に於て逮捕せらる

十六歲になる本夫を殺さんとせし姦婦姦夫捕はる

平南成川郡靈泉面芦洞里農李三德(一六)の妻李姓女(一九)は本夫の眼を盜み近隣の張一源(三〇)と稱する若者と不義の快樂に耽り居りしが少年乍ら本夫が邪魔となり姦夫姦婦は相談の末客年十二月二十日午前一時頃本夫の寢入りしを見澄し二人は腰紐を以て本夫を絞殺せんとして果さず其儘逃亡して行衛を晦まし居りしも去る二十五日姦夫の自宅に潜伏し居たる處を二人とも成川憲兵分隊の手に捕へらる

小作人の詐欺

人の土地を勝手に賣る

大邱錦町硝子製造所内居住廣島縣人神原英雄は愛知縣幡野郡一色村大字閑正榊原新一郎の所有に係る達城郡城北面西湖洞所在の田五千九百十六坪を小作せる者なるが去る大正四年一月廿八日右の土地を擔保とし所有者たる榊原の印章及び文證を僞造し上町村山某より金三百六十圓を詐取し又同年三月十五日大邱鳳山町立木某に對し金五百圓を以て所有權移轉の登記を濟ましたるが同人は豫て榊原より家貨の取立の委託を受けたるを奇貨とし七星町六十九番地下川某より四十二圓十錢を太田某より卅九圓十錢を受領し乍ら其儘之を著服したるより榊原は大に立腹し此程七星町山田小次郎を代理人として大邱警察署に斯く告訴したり

一家鏖殺事件

被告四名上告

去る二月二十八日平壤覆審法院に於て第一審通り死刑の宣告を受けたる龍岡郡竹中一家鏖殺事件の被告四名は四日不服上告したり

鮮妓の獨心中

◇西鮮地方では初めてなり

平壤府留里生れ目下成川郡崇仁面邑仁里金利龍方抱娼妓金錦珠(二三)は厭世の結果去る二十五日夜十二時苛性曹達を多量に服し自殺を遂げたるが當地方に於ける鮮人娼妓の厭世自殺は之を以て嚆矢とすと

實子殺し

平南寧遠郡寧遠面都坪里妾燦奎妻朴明雀(二八)は多淫な女にて近隣の男二三人と姦通せし揚句二月十日夜女兒を分娩せしを同人の父及び兒と共謀して窒息せしめ煙突中に遺棄せし事判明し三名とも寧遠憲兵分隊の手に捕へられたり

八名行方不明

濟州島旌義面新川里宋取日(六三)外七名は去る二月十五日沖合約二浬許りの所へ出漁したるまゝ行方不明となり目下濟州署に於て捜索中なるも一向轉覆又は轉覆の形跡なく或は突風に出遇ひ何處へか漂流せるものならんかと

此程内地觀察をして歸つた毎日申報南支局長の崔眼眞君の感想談と云ふのを聞いたが△其の語る處に依ると内地の文明は見るもの聞くものが悉く一驚を喫する材料ばかりで鐵道沿線の尺田寸圖も餘さず耕されて居るのとどの山も〳〵鬱々と繁茂して居るのを見ては流石に立派な氣持の好い處だと思つた△殊に內地人が朝鮮人に對しても聊か隔てなく情誼に至つては感謝の外なく△東京の電車の車掌の親切なのを見てから京城の電車の車掌の不親切が殊に目立つやうになつた△それから東京の廣いのにも驚いたが京城などはまるで一村落に過ぎぬ感じがする△最も感動を與へたのは二日間の帝國議會の傍聽で代議士と云つても大臣などには頭が上るまいと思つて居つたが大臣であらうが寺内首相であらうが遠慮なく追窮質問をして答辯に苦しめて居る有樣であつた△それから議場の議員や幾千の傍聽人の喧騷の間に立つて堂々と政見を發表したり質問演說をしたりする代議士になるには△學問は勿論のこと大に膽力の鍛錬を要することゝ思つた云々

…の煙突の破れ目より屋火大事に及ばんとせるを常備消防隊駈けつけ約一坪を燒きたるのみにて消止む

…來ざる爲め宿主より告訴され逮捕は本町署にて取調べの上檢事局へ送らる

【川柳「題」】 ●物けうたがい(假)ものはす ●謎 拔釜とかけて ●二日晦時事

九日 十日 十一日 十二日 十二日 十三日

見逃告者には五十錢當撰券を呈す ▲但何番何號と明記に限る ▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 (三月八日より特別大寫眞) ○米國バシフヰク會社作 ○瀑布 ○新派悲劇『幼き母』全四巻 △山本喜一、立花貞二郎[illegible] ○大活劇第六篇『鐵の爪』十一十二篇 十一篇「眠せぬ劍」十二篇「死の跳び下り」[illegible] ○舊劇『越後騷動』淺野大膳 全四巻 [illegible]

黄金館 電話二三六三七 二三六六 天然色活動寫眞株式會社京城館山一手代理店 ○三月八日より寫眞全部取替提供 ○泰西大活劇大使館の秘密全三巻 [illegible] ○新派悲劇 鴨の内 全三巻 ○活劇 瀧田又之丞 全四巻 [illegible]

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番 ○每夜六時より開演 京阪落語若手一座 語樂會 東京に於ける直傳三遊亭圓都座長として來演 ▲落語(遊三)▲落語音曲(笑三) ▲落語手踊(遊生)▲落語音曲(花輔) ▲手踊(三輔)▲落語(右圓遊) ▲手踊(歌六)▲落語、音曲(圓都) ▲大切喜劇(惣出) 入場料は遊夜大入の御禮として特に從前通り

有樂館 電話(局下)三〇五番 東京小林商會活動寫眞部直營 [illegible]

稻荷座 本町五丁目 [illegible] ▲寛永御前試合(雲井東次) ▲記錄 洛州之花二席(原天華) ▲二つ巴忠臣之鑑 ▲藝者と力士の爭二席 [illegible] 浪好家諸君の上好評[illegible]

商業登記公告 明城電氣株式會社ハ大正六年七月貳拾日第貳回株金拂込結了シタルニ付壹株ノ拂込金額ヲ金貳拾五圓ト變更シ同年拾月拾八日第參回株金拂込結了シタルニ付壹株ノ拂込金額ヲ金參拾七圓五拾錢ト變更シタリ 右大正七年三月五日登記 京城地方法院開城支廳

◎**產婆生徒募集** 規則書要郵券 福岡市外水茶屋町 福岡產婆養成所

◎**尋ね人**◎ 山梨縣北都留郡大原村大字小沢 長幡泰次郎 ◎事件心配無し至急居所知らせ◎兵役に關係あり 猿橋親戚

馬糧用壓搾干草 其他製絲用上州座繰並に枠碇庫品豐富 御入用の方は電話又はハガキにて御一報を乞ふ 京城古市町四二番地 林商店 電話三〇六番

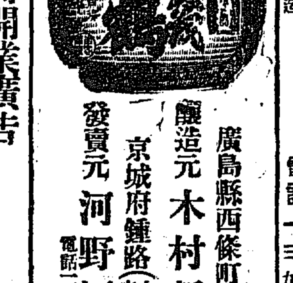
耐火煉瓦 ▲蠟石煉瓦(三十番より三十四番) ▲シャモット煉瓦(三十番より三十四番) ▲ダイナス煉瓦 ▲マグネシヤ煉瓦 ▲耐火モルター其他耐火物各種 平壤府橋口町(電話壹貳五番) 合資會社 京谷商店

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通) 電話一八番 二六〇〇番 **酒井婦人病院** 院長 酒井一郎

資本金 貳千貳百七拾萬圓 積立金 壹千貳百貳拾萬圓 總預金 貳億貳千六百萬圓 **株式會社 第一銀行京城支店** 支配人 西村道彦 京城府本町二丁目(振替貯金口座京城一一番 電話一番六二番三三一七番)

内科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 **石川醫院** 電話一二三七 九二九番

優等清酒



廣島縣西條町 釀造元 木村靜彦 京城府鍾路(中央市場) 發賣元 河野酒店 電話二三〇八番

◎**移轉開業廣告** 謹啓弊店儀榮町にて營業罷在候處過日火災の際類燒の厄に遭ひ候爲め今般漢江通り十三番地に移轉開業仕候に付倍舊の御引立に預り度此段奉願候 敬具 京城府龍山漢江通十三番地 電話七〇六番 諸紙文具雨傘卸小賣商 太田商店 店主 田代元吉

朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生 普成商業學校講師 西村眞太郎著 第四版

朝鮮語會話

受驗者必携袖珍總クロース四百餘頁美本 定價金八拾錢(郵税四錢)

一、根本的に朝鮮語を研究せむとせらるゝ人士は必ず本書を購讀せられよ

二、受驗者諸君は正確なる良書を撰ばざるべからず本書は完全なる智識を諸君に提供す

三、諸種の書に依りて攪き亂されたる諸君の腦髓は本書に就きて研究せば完全に正確に統一せらるべし速に一本を机上に載せて愛讀の榮を賜へ

賣捌所 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部 取次所 大阪屋號、巖松堂、京日各支局

京釜線(南行) 同(北行) 湖南線(南行) 同(北行) 關釜連絡 京義線(北行) 同(南行) 京仁線(仁川行) 同 京元線(北行) 同(南行)

塚原卜傳

第九席　悟道軒圓玉口演

實に塚原の技倆は凡人の及ぶ所にあらず、暫時の中に羽黒山伏、八十七人といふもの同じ枕に斬伏せられ、餘る者共と雖ども手を負はざる者はない位ゐ、餘りの恐ろしさに命辛々逃散つて只遠くから取捲いて見て居るばかりでございます、緊がの小太郎も鐵石に非ざれば身體疲勞し、一同の者の遠退いたを幸ひ、岩角に身を持たせ、右の手に一刀を突いて谷間の清水を掬ひ、一口飲んで咽喉を潤ほし、ホッと息を吐いて居る、彼方の岩蔭に身を忍ばせ、樣子を窺つて居隱して隙を窺つて居た處、今小太郎が一息吐いて休息して居る、身體の隙を見て持たる鎖の分銅を取直し、エイッと氣合を懸けるとパッと投げた、暗夜の礫は防ぎ難しと譬の通り、小太郎聊か油斷して居つたる處でございますから摠ふ間もなく、右の小手へガラガラと鎖が搦まつた、ハッと思つて振解かんとするのをグイと引張られたから刀を取外し、ヨロ〳〵と蹌踉く處を龍山躍上つて引倒し、龍『ヤア〳〵一同の者、當の仇塚原を、辨天堂の龍山が生捕つたり』と大

りましたのは辨天堂の龍山、最前小太郎のため九死一生の目に遇つて一時は目を眩したが氣が付いて見ると圓海を初め一同は斯る有樣己れ憎くき小太郎と鎖鎌を押取り後を追つて最前から此岩蔭に身を音に呼はる、之を聞いて一旦遁ざかつたる者共馳集まり、手を取り足を取り、早繩を以て高手小手に縛り上げ、傍らなる一本松の幹へ吊し上げ『龍『サア小太郎何うだ、能くも師匠圓海初め數多の人々を打殺したな、人に辛ければ人また己れに辛しとは此事、此上は師の仇、汝を火炎の刑に處して呉れる念佛唱へて往生しろ』一山の大衆手を拍つて喜こび、尊師圓海も之れならば成佛するであらうと手に手に枯木枯草を持参して小太郎の周圍に積重ね、燧で火を打て已に枯柴に移さんとする、實に小太郎の一命風前の燈火より危く、折からの山巓に火を放てばモウ其れまで、勝義今は最後と觀念して眼を閉ぢたる折こそあれ、一聲響く鐵砲の音、火を付けやうとして居た奴の背から胸へ打貫かれ、キヤッと叫んで打倒れる、アッと一同打驚ろき、何者なるかと振返る處ろへ駈付けたる一人の勇士、之れ別人ならず仁科與四郎主人の身を案じて之れへ駈付けたのであるが其れと見るより鐵砲を投捨て一刀引抜き大勢の中へ斬込んで、手當り次第にバッタ〳〵と斬立てる、思ひ懸なき助勢に驚き騷ぎ立つ隙を見て、小太郎に近付き手早く縛めの繩切拂つて之れを助ける、烈しき中にも小太郎『小『與四郎か善く參つて呉れた、少しの油斷に不覺を取つたは殘念『與『何はともあれ少しも早くお立退なさるやうま…』もう手足が自由になつたから小太郎勇氣は千倍、落ちたる一刀取上げて近寄る山伏を薙拂ひ、與四郎も頗る技倆であるから助勢をして四角八方を打破り、小太郎を助けて谷間へ馳下ると折も宜し繋ぎ捨てたる筏舟、天の與へと飛乘つて矢よりも早き梵字川を流れに任せて下つて行く、ヤア小太郎を逃すな〳〵と口々に呼はり、半弓を持て雨のごとく矢を射掛けるを事ともせず主從兩人筏の上で斬拂ひ斬拂ひ十八里の溪流を久時の間に流下つて最上川の岸谷口村といふ處へ上りました、此には人家もあり其夜は百姓家を頼んで一泊し小太郎が『小『與四郎、其方の庇護で危ふい所を免れたが何して拙者の危難を知て登山した『與』實は若樣のお言葉で心ならず足を止めて居りましたが、何やら心許なく大勢の者が一緒にといふのを斷つて只一人鐵砲を借受け登山いたした處途で樵夫の老人に逢ひ、若樣の危ふい事を聞きまして宙を飛んで馳付けましたが思へば危ふい處でございました』

牛乳　新鮮純搾ホルテイン　御用　京城東四軒町　岡野牧場　電話一〇六九番

三月八日 九星　舊正月廿七日 乙卯　本命四緑 羅除 先負

▲四緑● 不圖飲み求めんとす注意新事見合北方は吉 ▲五黄● 大損の難有日新事手控ふ [illegible] ▲六白● 一利一害の日 [illegible] ▲七赤● [illegible] ▲八白● [illegible] ▲九紫● 福の神の舞込日 [illegible] ▲一白● [illegible] ▲二黒● 他のせわ事にて迷惑せんとす [illegible] ▲三碧● 金運の日 [illegible] 物に勝の日

院長 醫學士 森定吉
(美容醫院改め)
內科 小兒科 森病院
…入院隨意…
京城明治町二丁目七五 鶴田醫院跡 電話二六二三番

◎月やく
月やくさまり不順のため食物胸につかへ時々嘔吐を催し足腰下腹痛み逆上頭痛眩暈して何となく工合悪しく心配の方は [illegible]
東京四谷傳馬町停留場前 森田屋

診察 自午前八時 至午後九時
內科 小兒科 京城南米倉町 岩崎醫院 電話二七六二番

りん病
消渴で困る方切手三錢送れ自宅で秘密に治す妙藥を人助けに無代でお教へ致し升
名古屋市南かじや町 武藤鑑吉

▲▲▲

第二十九回 新學期

小學校卒業生が中學校に入らずして中學校同樣の學力を得らるゝ新方法は發見せられたり

大日本國民中學會

金壹千圓の懸賞にて發見せる最新最良の三段式教授法により新學期を開講す入會の絕好機は今也速に入會を斷行せよ

講義見本 申込次第無料進呈

會長 正三位 尾崎行雄

學監 文學博士 遠藤隆吉　文學博士 山內繁雄

學事 文部大臣 岡田良平　文學博士 三宅雄二郎　法學博士 浮田和民

顧問 法學博士 和田垣謙三　農學博士 新渡戸稻造

創立第十七週年第廿九回新學期開講記念として此際至急入會者には 入會金全免 參考書進呈 會費免除等 大特典の外 獎學金を贈呈す至急申込あれ

東京神田 駿河臺 電話本局 三〇〇二番 三〇〇四番 三七〇七番　大日本國民中學會

一分間美顏術
クレームレート
佛蘭西に迄輸出して居ります

◉完全にお肌を整へる
◉手輕に出來る美顏術
◉お顏に脂肪が浮かぬ
◉粉刷き下に天下一品

現今無數のクレーム中クレトムレートは根本精分が非常に強くムいますから完全にお肌の荒を整へます 一分間美顏術の稱ある程クレームレートの成分は直ぐお肌に溶け合ひ不思議に素顏を美くしく致します クレームレートには少しの動物性脂肪が使つてありませんから厭な臭ひがせずお顏に惡光が致しません クレームレートを引いた上へ粉白粉をお刷になれば殊に落付が出て其美しさは實に天下一品でムいます

レート化粧料本舖
東京 平尾贊平

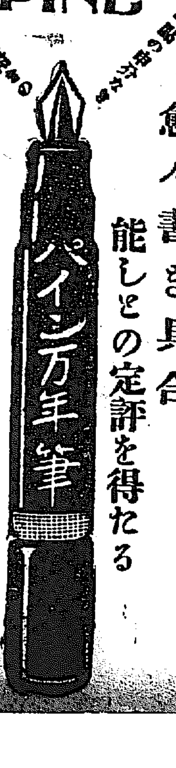
てんかん
病で時々ヒキツケ困る方切手二錢送れ永年の病も自宅でヒミツに治療す事を書た詳い本を無代進呈す
名古屋市南小川町一 救生舘

シュマズ イタマヌ
目ニ見ヘテ ズン〳〵キク
井上博士ノ ロート目藥
五十錢 廿錢 十錢

資本金 壹百萬圓
諸積立金 參十一萬五百圓
株式會社 朝鮮商業銀行
京城南大門通一丁目 電話五五八、四六八、一三〇七 振替京城一六三四番
一般銀行業 倉庫業
銀行長 趙鎭泰 支配人 豊田明敬
南大門支店 平澤支店 本町支店 群山支店 仁川支店 東大門出張所

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから…御値がお安いです
京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二番 振替七三七番

大日本政府 登錄商標
"PINE"



愈々書き具合能しとの定評を得たる
萬年筆の眞價はパインを除き他に知るべからず

特許既斷防破裂附
緑出式萬年筆 金六圓八十錢
押出式紳士向 金五圓三十錢
インキ止式婦人用 金三圓八十錢
インキ止式短軸向 金四圓九十錢
インキ止式實用向 金三圓八十錢
パイン學生號 金二圓八十錢
ビジネスペン(事務用) 金一圓九十五錢

不具合又自然破損は交換快諾又は無料修繕

□發賣元 京城日報社代理部
京城太平通一丁目 振替東城三〇〇番

京城日報
第五版
三月八日朝刊 (朝夕刊併せて八頁)
發行所 京城太平通二丁目 京城日報社 電話[illegible] 振替[illegible]
發行兼編輯人 [illegible] 印刷人 小川三之介
定價 [illegible]
廣告料 [illegible]

[illegible] 大阪電報 七日後場 [illegible] 二十二圓三十 [illegible] 五錢 [illegible]

[illegible]

[illegible]すべからざるものあるに加へて、西伯利亞に於ける獨墺俘虜、自ら其自由行動を逞くするの姿あるや、世間此に恐慌を懷くもの尠からず、就中支那人は、獨逸の蒙古滿洲を襲ひ、若くは西藏を占領すべきことを畏るゝこと甚だ切なりと云ふ。今日露國の一部は、既に獨逸の支配の下に相違なしと雖も、其勢を驅りて極東に及ぼし、支那及び印度に其事を用ふべきや否や疑問なれども兎も角も支那人の神經は、此に一大刺戟を受けたるの如く、これより延いて其政[illegible]の上に大なる影響を見るべしと云ふものあり。

支那馮總統の段祺瑞氏を擧て、參戰事務を統轄せしむるや、世間[illegible]兩派の調和策に出るもし、[illegible]を此に求めむとするの情あり、顧ふに今日支那南北抗爭相容れざる北京に於ける武力解決派と妥協派とは互に其虛實を疑ふの實あれども、妥協が困難なるごとく、武力の解決も亦不可能事にして、兩派共に今は手の著くべき所なきに苦みつゝある折柄なれば、其關係者は何等かの機會を以て、其を解決することを願ふに切なるべく、今日西伯利亞の形勢危急にして、支那自ら保つの計を講せざるべからずと爲すに至らば、其の情形亦自ら變化せざるべからず。

近電に依れば、支那政府は去二日の國務會議にて、四萬の兵を出すことに決し、これに必要なる軍費一千萬元を支出することとなりたれども、差し向き其資金を調達するに苦める模樣あり、更に馮總統は財政困難其他の事情の爲めに、職を辭するの意ありと傳ふるものあり、其評判區々なれども、馮氏は現在に於て支那の元首なり、特に來る七月の總統改選期を眼前に控ふるの今日に於て、容易く其地位を去るべき道理なく、其財政の困難なることは誰が其局に當りても同樣にて、出兵の已むなきを見るときは、外債を起して其經費を支辨することも亦已むを得ざる所なれば、支那政治家たるものは、此の當然の事たるを認めて、相當の覺悟を爲すの外なく、日本其他協[illegible]の援助を與へ[illegible]一たるの姿務を全くせしめざるべからず。

尤も今日露國の形勢は、甚だ不明にして、過激派政府は、一面には獨軍に抵抗し、飽までペトログラードを防禦するの形を示すも、他の一面には獨逸の強要を容れて進に無に和を講ずべき意思あり、獨逸とても講和を促がすが爲めに其兵を露都に進むるといふ次第なれば、若し講和條約にして成立せば、獨軍と過激派政府との間の抗爭は、此に終結すべしと雖も、斯る降伏的講和條約を締結したる過激派政府は、到底其地位を保持する能はざるべく、[illegible]過激派は此機會を以て、國內[illegible]抗爭運動を開始すべきや論なく、又露國內はこれより益々分離、獨立の勢を長ずべし、近報西伯利亞各地相依りて、[illegible]を德ふるあり、其形勢は日に日に錯綜を加ふる姿あるを以て、假令獨逸にして其手を極東に伸ばし來ることなくも、我日本は自國及び協商諸國の爲めに、自衞の計を取らざるべからざるのみならず、支那亦適當の手段を取りて其時機を失はざることを期するを要す。

遊支偶錄

蘇峰生

(四八) 尙武と右文

若し日支兩國の國民性に於て、最も相違の點を求めなば、一は尙武の國にして、他は右文の國なるを是れ也。固より日本とても、平安朝の古に於て、上流社會の一部は、文弱の弊に陷りたる例なきにあらず。而して支那と雖も、時と場合とによりては、武勇を以て、國を立てたるものあり。されどそれとても、馬上天下を取るも、馬上以て天下を治む可らずとなせり。

されば必要に應じて、武人をも採用し、採用するからには、重用したる事實なきにあらざりしも。其の之を必要とするや、恰も肉を好む者が、屠者を必要とするが如く、唯だ餘儀なき場合に、餘儀なく之を使用する迄にして、決して國民の名譽の標的にはあらざりし也。されど、武勳によりて、出身したる者は、如何に顯要の位地に登りても、何となく肩身の狹き有樣にて、社會は之に對して、充分の認識を與ふることを肯せず、乃ち武人は到底特種部落の待遇より、免がるゝ能はざりし也。

所謂る好漢兵と爲らず、好鐵釘と作らずとは、支那人の軍職に對する概念を、道破したるものにして、今尙ほ古の如し。要するに兵士となる者は、社會の喰込者、廢棄者、厄介者にして、乞食、盜賊と相距る一歩のみ。而して社會の待遇が、此の如きと同時に、兵士彼自身も、無代にて酒を飲む爲め、奸淫を恣にする爲め、軍服を著て强盜を働く爲めに、之に投ずる者、少からざる也。

是を以て支那に於ては、軍隊とは、隊を組みたる持兇器强盜の異名視し。人民は討伐せらるゝ匪徒よりも、却て討伐する官軍に向て、より多くの鬼胎を懷く也。支那の歷史に、秋毫も犯さず抔の記事あれども。平生から犯しつゝある兵士が、如何でか其の產物を見て、之を見逃す可らず。而して斯る記事あるは、其記事が、普通の事たらざるを立證する者也。

防寒建築案募集

締切は愈來る十五日=四月一日發表

◇建坪 四十坪乃至五十坪迄 但し二階建設計の場合も延坪が此制限より甚しく超過せざる事

◇家族 夫婦老人一子供三女中一計七人暮しの立案

◇提案 平面圖、正面圖、設計說明書等を具備す可し

◇工費 坪當り百圓內外とす

◇特案 特に防寒設備を施したる構造部分の詳細の圖面及び說明書[illegible]

◇寒度 京城=平壤兩地方に適當する程度の防寒構造

應募規定

(1)一人一案に限る‖(2)應募者諸君の提案條件は、應用者最も多き中流家庭の住宅を定則とするも、旅館、料亭等は特別建築として査證す‖(3)應募者は必ず一葉の平面圖、正面圖及び之が設計書を附せられたし‖(4)應募者は其設計書に必ず住所氏名を明記せられたし、但し入選の場合紙上發表の際は希望に依り匿名差支へなし‖(5)締切期は來る三月十五日とす‖(6)發表期は來る四月一日とし一等より順次三等迄、圖面共に京城日報紙上に掲載公表す‖(7)應募者は『京城日報編輯局建築案募集係』とし封筒表に『防寒建築提案』と朱書ありたし‖(8)提案原稿は返戾せざる事を豫め承知あれ

懸賞

應募の防寒建築案にして審査の結果入選したる一等より三等迄四名の諸氏に左の款額を以て我社は發表の當日賞與金を贈呈す

一等(一名)金百圓 二等(一名)金五十圓 三等(二名)金十圓宛

支那出兵未決

軍費に行惱む

支那の出兵に就ては種々の說あれども果して北京電報の如く四萬の大兵を北邊に出動せしむる事に決したるや否や其筋には未だ情報に接せざるを以て之を知るを得ずと雖も假りに參戰統轄處に於て[illegible]決定を爲したりとするも總統府側の軍備は不明なるのみならず軍器及び軍裝を何れより求むべきかに就き豫め考究を爲し之が解決を附けたる上ならでは出兵の程度及び其時期をも決定し得られざる次第なれば斯かる準備行動を爲さゞる今日直に四萬の出兵を爲すに決するが如きは少しく早計の感なきを得ず從つて支那政府に於て出兵に關し種々の協議を爲しつゝある事は事實ならんも之が爲め既に四萬の軍隊を北邊防備に出動せしむるに決定せるが如く解するを得ずと某外交通は語れり(東京)

[illegible]

[illegible]

久宦叨陪鷄鶩班。○雲川魏闕日[illegible]一回春。○評:[illegible]

[illegible]。○聞君從學余亡友。○[illegible]高似山。○評:[illegible]鷗外博士、依田百川翁[illegible]

句乃叙臨池之深也

次鷗外森博士寄示韻賦答 豐田 股野琢

偶成 國外 森林太郎

[illegible]已脫。○硯衣賦遂初。○枕前何料[illegible]。○石渠天祿倦[illegible]。○欲爲野士[illegible]辭寵魚。○[illegible]

閑散之閣府而今博士猶爲[illegible]長、從中昔之[illegible] 蓋其意在欲除辟小乎 足以見忠厚之[illegible] 辭氣和平字眼用之[illegible]相同、他不多見

錺(かざり)

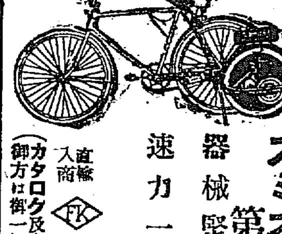
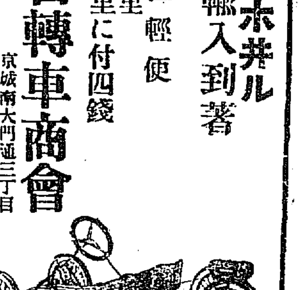
布施生

十二

其外織衛の奴が確かに眞犯人に相違ないと云ふ證據は當人の部屋を探すと創口にしつくり當嵌る短劍が出ました、織衛が捕まつてから何處にも人殺がありません、考へてみるとどうも今迄の怪しい人殺は確かに織衛と其手下との仕業です、なるほど織衛の奴がいくら強情を張つたとて私の方には又それ〳〵白狀させる手段も方法もございますから何れ近い中にすつかり泥を吐かせて御覽に入れます、其結果或は娘も頂戴に上るかも知れませんから其節は早速御引渡を願ひます』こう言はれてみると成程先方の方に理窟があつて織衛は如何にも罪人らしい、學士は差當り辯護の言葉に困つたがそれでも心中には矢張り織衛の無罪を信ずる所がある、學士は禮儀に向ひ『恐入りますが少し考へも御座いますで何卒一寸織衛に會はせて下さいませんか』と頼込んだ。

禮儀は案外機嫌よく『大層御熱心ですな、それ程お會ひになりたくば別段お制止申しは致しませんがしかしお會ひになりましても到底駄目だらうと思ひます、織衛が下手人だと云ふ證據は唯今申上げた外にまだ澤山ございまして念の爲其一つをお話申しますと、殺された錺職の宅の入口には黑戶鴻一と云ふ老人夫婦が住んで居ります夜でよく檢べてみましたが錺職輕地の大門は蝶番の工合で開閉に軋る音が高く響いて其音は隣近所から二階まで聞えます、黑戶夫婦を喚出して尋ねてみるとどうもあの晚錺職は戶外へ出は致しません輕地は例の通り九時頃降りてきて大戶を閉め二階へ昇つてお經を讀みそれから直寢てしまひました、黑戶は最う八十餘りの老人で睡眠が冴ねて寢られない其晚も例の通り寢付かれないので小さい燈を點して女房に古い年代記を讀ませ自分は椅子に腰かけてそれを聞きながら時々は退屈まぎれに起上つて部屋を運動し夜中までそんな調子で起きてゐたが其間一度も錺職の宅の大戶は開いた事もありませんでした、夜中に何だか輕地の宅の二階が騷々しくなり何か重い物を卸したやうな音がしたが軈て人の呻吟聲が聞た暫時すると泣聲が聞たので夫婦は思はず眼と眼を見合せた事でした、どうです此通り立派な證人もありまして輕地はあの晚戶外へは出ませんでした、犯罪は家の中で行はれたのに相違ありません、そうすると下手人は誰でしやう、門は閉つてゐるし窓からは誰も這入つた形跡も出た形跡もありません家に居たのは娘の町子と內弟子の織衛との二人です、すれば下手人はどうしても織衛ではありませんか娘も同類か其處迄はまだ分りませんが何れ娘も罪は免れますまい』『でも貴君』學士は禮儀の言葉の切れるのを待兼ねたやうに『織衛が何の爲に輕地を殺したでしやう』『御承知の通り輕地は財產もあり職業用の地金や寶石も澤山蓄へて居りました』『でも輕地は行々は自分の舅になる人ぢやございませんか』『其處ですて、其處が貴女のお考への失禮ながら單純な所で、織衛は多分其金銀珠玉を一人で自分の物にする事は出來ず人と分配する義務を有つてゐたのでしやう』『分配するつてまあそれは誰とでございます』『勿論自分の同類とです、つまり織衛と云ふ奴は人殺の隊長で今度の一件は多分手下に迫られてした仕事でしやう、そんな惡人ですから今更情を懸けてお會ひになるのは無駄な事とは存じますが、しかしそれでもお會ひになりたいと云ふ思召なら強てお制止申しは致しませんが、氣味が惡くない事なら只今から一時間ばかりは牢屋の戶を貴女の爲に開かせます』

最新刊
築山庭造傳(六册揃入) 北村援琴 二五〇
小生の手紙 大町桂月 一三〇
婦人の爲めに 高島平三郎 一三〇
修養道歌日訓 蓮實長 一四〇
文字の敎へ方 後藤朝太郎 一〇〇
英文典新釋 清水起正 九〇
英語學び方 岡田乃武 九五
自修英語速成 (日本學術普及會 定價八十五錢)
能と謠の講話 天沼熊村 一二〇
小學校に於ける兒童の文章力に就ける 帝國敎育研究會 七〇
綴方指導の實際 氏家丑次郎 一五〇
す る め 大熊喜德 一三〇
投機の奥の手 望根竹齊 一二五
儲れるまで 德久少佐 一二〇
日蓮宗派通話集 [illegible]研究會 一二〇
最も簡易なる理想の珠算 下石上錄之助 各 七五
算盤獨習學び方 松村定三 五〇
小說の作り方 德田秋聲 五五
大阪屋號 京城本町電六八四・二〇八六・振京城二五七三


スミスモーターホイル
第三回新輸入到著
器械堅牢無比
使用至極輕便
速力一時間十里
動力費用一里に付四錢
直輸入商 FK ツヅキ自轉車商會
(カタログ及定價表御入用の御方は御一報次第送呈す)
京城南大門通三丁目 電話長 貳三壹〇番


創業十五週年紀念
法律經濟書特價販賣
特價期限 四月五日限
內容說明付き特價圖書目錄御申越次第御送付可申上候
東京 東京神田仲猿樂町 巖松堂書店 (電話本局二一二五四・振替東京六五五六)
京城 京城本町二丁目 巖松堂京城店 (電話一一六六・振替京城二四五四)

日本一
海外發展不合格者…志賀重昂
歷代首相論…三宅博士
勅題英譯…和田垣博士
大阪陣(桃山丸の防備)…福本日南
天馬行空錄 回顧八十年…岩崎鏡川
小唄供養…小杉天外
不動銀行の剖解…赤城四十八
成貧 氣の毒論…高島米峰
時事短評…浮田博士

財團法人 電機學校
電氣化學科特設
(晝間)豫科一期二期本科一期 (夜間)豫科一期二期本科一期高等科選科 生徒募集
授業開始四月十一日 規則書は申込次第送附
東京市神田區錦町 電話本局七九八、五一三〇
校外生(特殊の通信敎授)隨時入學
講習生(普通の通信敎授)
豫科講義錄完成

ワングル鞄
旅行鞄
乘馬具
馬具附屬品
製造販賣
京城明治町二丁目 古賀喜商店 電話一八三三番

◎鑛業の智識を得んとする者は見よ
鑛業講習錄
新學期開講入學の絕好期
目下入學者には特點あり
本校は最新式の通信敎授を以て鑛業に關する一般の智識を授け[illegible]
◎校則は申込次第送呈但郵券二錢要
京城府漢江通り十一番地 電話[illegible]
大日本通信鑛山學校朝鮮支部

朝鮮彙報
大正七年三月號 每月一回(定價二十五錢 郵稅二錢五厘)
▲廣告料 一頁金七圓
口繪 ▲釜山第二棧橋工事▲元山築港[illegible] ▲忠南苧布品評[illegible]
調查及研究 ▲肺結核の制定 豫防規則[illegible] ▲大正六年朝鮮[illegible] ▲洗浦高原の植物 ▲扶頭の發生時期
女學校長に對する總督訓示
地方事情 ▲忠南苧布品評會 ▲府郡聯合物產品評會
徵兵制度に對する一部改正所感 渡邊[illegible]
支那視察談 [illegible]
雜錄 ▲遞信事業概況 ▲各道郡島書記[illegible]
統計 ▲入口統計 ▲大正六年各港別貿易概況 ▲十二月中經濟概況[illegible]
取扱 京城本町 ウツボヤ書籍店 電話二五二七番 振替京城貳二[illegible]

黑松種子
壹升送料袋代共 特價貳圓八拾錢
外山林用種苗御照會次第回答仕可候
種苗問屋 千葉縣東葛飾郡川間村中里 キ柳常八商店 振替口座京城五千[illegible]

大正七年 朝鮮總督府職員錄
二月廿日出來 定價金六十五錢 送料金八錢

大正七年 朝鮮事情要覽
製本出來 定價金八十錢 送料金六錢
販賣所 京城本町二丁目 日韓書房 電話一四五五 振替京城二二五

第四十回帝國議會

貴族院 (七日)

▲豫算委員總會

七日午前十時二十分開會淺田、青木正副委員長以下各委員及び寺內首相以下各大臣等出席、野頭各分科會の報告を爲し第一分科主査前田利定子、第二分科主査小澤武雄男、第三分科主査高木兼寛男、第四分科主査村上敬次郎男の各主査より分科會に於ける豫算審査の經過顛末に關する報告あり正午休憩

午後一時再會、第五分科主査武井守正男遞信農商務豫算審査の經過報告後農商務所管にて希望條件を附して左の決議を爲したるを報告す

希望條件

炭坑作業は現狀に於ては爆發危險の增進するは當然の事也然るに政府の處置宜敷を得ざりし依り本邦に於ける炭坑爆發の現況は酸鼻の極を呈し殊に最近爆發せるものは何れも世界的統計に徵するも非常事件と認む可きものなり近時歐米諸國に於ては慘害豫防法嚴行の結果著しく其慘害數を減じたるは統計の示す所にして豫防の不可能に非ざるを示すものなり、政府は此點に就き注意なきに非ざるも毫も改善せざる而已ならず益々其危險を增進せんとす且爆發の都度其責任者不明にて延いて賠償問題だらんとするの傾向を示せり速かに相當の方法を講ずべし

次いで第六分科主査稻垣太郎子の審査報告あり鐵道院所管中池田、觀音寺線建設費年度割繼續費を否決削除せる旨を報告す夫より一般財政、行政に關する質問に移り、江木千之氏外交に關する質問に移り秘密會となる

衆議院 (七日)

▲共通法案委員會

七日午前十時三十分開會山田政府委員より本法第十一條及び第十八條中民事及び刑事訴訟地域に關する說明の訂正あり、鶴田米藏氏(政友)と山田、馬場兩政府委員の間に本法運用上法規統一に關し問答あり、齋藤隆夫氏(憲政)は關東州には議會の協贊を經たる法律と然らざる法律と二樣に制定せらるとて兩者の關係に就き質す處あり、有松長官より詳細なる說明ありたる後、馬場政府委員又之れを補足し、更に齋藤氏は憲法上

第四十回帝國議會 (東京特電)

立法上に徹底的の解釋を爲すの要あり當日の意見とは根本に於て異る所ありと述べ、小川鄕太郎氏(新政)と馬場政府委員との間に朝鮮人の臣民的權利の賦與に關し問答あり猶小川氏は徵兵關係及び參政權の附與に關し質問、有松政府委員は未だ實施の時期に達し居らず內地に移住し居れる者に對しては別に法律の定むる所あり右領土に於て內地同樣の施政を實現するは重大問題にして未だ其必要無しと認むと答辯し、小川氏尙鮮人現下の對日感情等に就き說明を求めたるも有松長官は說明を憚るとて答へず、十二時十五分散會せり

▲委員會

朝鮮生產に關する物品の移入稅免除に關する法律案

七日午前十一時開會、木村政次郎氏(政友)の質問に對し、鈴木、松本政府委員は大麥の移入稅免除は一般產業上の見地より其必要を認むと雖も單に局部的の實施は不可なりと答へ、猶兩者の間數次問答あり、小林源藏氏(政友)の質問に對し松本政府委員は現在ゴールデンメロン州の需要は約十二、三萬なりと答辯し、道家政府委員は移入稅免除の結果內地に於ける同上栽培者の打擊は多大ならずと述べ、赤間嘉之吉氏(政友)と鈴木政府委員との間に鐵材の移入免除に關し二三問答あり、零時半散會

◎辭令 七日左の如く辭令あり(東京特電)

朝鮮總督府稅關長 矢野久三郎
任朝鮮總督府營林廠長 敍高等官二等
朝鮮總督府營林廠長 齋藤音作
文官分限令第十一條第一項第四號に依り休職被仰付

◎赤塚奉天領事

赤塚奉天領事七日朝著釜し直に連絡船櫻丸にて內地に向へり(釜山特電)

獨逸東漸と極東

▲露都破壞計畫 勞兵會の獨逸條件反對

多數の地方勞兵會が獨逸條件に反對する決議案より判斷すれば三月十二日開催の莫斯科勞兵會議は講和條約を是認す可しとも思惟されず該條約批準の爲め獨逸より許されたる二週間は恐らく赤衞軍の編成に費さる可く而して結局防禦を利とする事となる可し、露都の撤退及び移轉す可らざる物質全部の破壞は此に計畫せられ居れり(露都電報)

▲滿洲西伯利亞出動 日本委任意見一致

佛國外相ピション氏は下院外交委員會にて日露問題に就き陳述する所ありしが外交委員等は右に就き語て曰く滿洲、西伯利亞出動のことを日本に委任する件に關し聯合國の意見の一致を見たりと解す可しと(巴里電報)

▲內田大使抑留別報 哈爾賓到著は意外に遲延せん

其筋に達せる情報に依れば內田大使の一行は三日ヴオログダを出發し東行の途に著きたるが過激派政府はイルクック勞兵會本部に對し日米兩國大使を途中にて抑留す可しとの訓電を發したる趣なれば同所にても右の訓令を奉じ或は日米兩國大使の抑留を企つるやも知れず其筋にても一行の安否に關しては大に憂慮しつゝあり而して假りに抑留さるゝ等の事無しとするもイルクック、チタ間の鐵道線路は過半セミヨーノフ軍の爲めに破壞されたるを以て一行の哈爾賓到著は餘程遲延す可しと(東京特電)

▲西伯利亞邦人困窮

オムスク、トムスク、イルクック等に於ける西伯利亞在留邦人は目下チタに引揚げ同地在留邦人と合はせて總計六百五十名なるも鐵道破壞の爲め歸還する事能はず且食料不足にて困窮し居り已むなくばアムル鐵道にてブラゴエチエンスクに出で解氷を待ち船にて哈爾賓に來る可しと(長春特電)

▲浦鹽各商店閉鎖

浦鹽に於ける各國人の商店は六日より悉く閉鎖せり(浦鹽特電)

▲露支兩軍の接戰

滿洲里の露西亞人多數は哈爾賓に避難し來りたるが其語る處に依れば彼の地は過激派軍優勢にてセミヨノフ軍は全敗し猶支那兵と過激派軍との接戰あり混亂を極むと(長春特電)

▲獨軍進擊を續く

露都占領說は其後報道區々にして眞相を知るに難きも諸種綜合するに今獨軍はプスコフよりワルクに進み講和締結以前に與ふ限り軍事的地位の優越を占むるに焦心居るが如し(長春特電)

◎馮總統辭職魂膽 北洋派の目的は某督軍の罷免にあり

馮總統辭職は一種の狂言に過ぎず勿論今次の某督軍の行動は一時馮氏をして危懼の念を懷かしめたるも唯北洋派の期する所は責任內閣の實なき現內閣を改造し且つ和議を主張し北洋派の團結を動搖せしめたる某督軍の任を解かんとするにあり毫も馮總統排斥の意無き事明白となりたるを以て馮氏も漸く安心し唯だ一應世體を繕はん爲め辭職を云ひ出だせるのみに過ぎずと(北京特電)

◎支那國會召集期

新國會は六月二十日召集開會の事に此程開催の國務會議にて決定せり(北京特電)

◎鹽稅剩餘金交附

鹽稅剩餘金三百七十三萬弗は六日上海、廣東、天津にて支那政府に交附されたり(北京特電)

◎佛軍大奇襲成功

ミユーズ河東方に於ける佛軍は吹雪の裡に大奇襲を行ひ千二百米突に亙り敵の第四戰線を突破し或地點にては突發六百米突に達せり(倫敦電報)

◎京城市場建設と敷地 京城商業會議所の方針に就て

京城に於ける個人經營に係る各市場存續期間の切迫と都市經營策上より觀たる中央大市場の建設に關し京城商業會議所が提唱せる市場統一問題に就いては屢々報道せし所なるが之れが

▲敷地の選定 に關し會議所が目下其の議を進めつゝある地域は東拓橫明治町一丁目裏より南大門通二丁目に面する廣大なる空地にして右は李王職の所有に屬するものなるが元來會議所の意見としては此の廣場は京城都市の中樞地にして道路、電車等の便最も開け東大門線、義州線、光熙門線、南大門、龍山線の交叉せる交通の焦點とも目すべき地にして中央市場の敷地として適當せるものなるが而かも李王職は過去約十年間何等之れが利用法を講せず尙五六年は之を放置せむ有樣なるが斯くの如きは

▲都市の體面 より觀るも決して策の得たるものに非ず殊に都市の中央に空地を存して何等利用を爲さざるに於ては其土地の所有者は其れ丈けの負擔能力あるものとして其の評價に致する地稅の數十倍に相當する金額を地稅以外に賦課し尙一定の期限經過するも之を利用せざる時は都市の所有として之を沒收し一般公共團體の利益の爲めに之を使用しつゝある現狀なり仍ち前記李王職の所有に係る

▲東拓橫空地 の如き都市經營上より觀ても甚だ不經濟なる事にて之れが最善の利用法を講ずるは寧ろ一般府民の計劃に俟つべきものなり卽ち商業會議所が此の地を利用して中央大市場の建設を企畫せる次第なるが會議所にては比較的安價なる地代を以て拂下げを乞ひ敷地一千五百乃至二千坪の大市場を經營し其の販賣標準價格に制限を加へ以つて安價にして衞生的なる食料品其他を一般家庭に供給するを得ば

▲物價の奔騰 に惱める一般生活狀態を緩和するを得べきのみならず一般經濟上に多大の好影響を齎らすを得べしと言に依り

◎土地熱勃興の原因 朝鮮營農者の買ひ進みにあり

近來南鮮各道を主とし土地熱漸次勃興の微ある事は既報せしが右に付某有力銀行家は其の原因並にありとて語る、朝鮮土地熱の勃興は

▲內地資本家 の朝鮮熱田買ひ進みも慥に一の理由である又米も麥も豆もから高値を示しては自然地價も出て來る譯だ然し之等は朝鮮土地熱を煽れる副因であつて其の眞因は朝鮮地主の懷ろに少なからぬ資金が入つた結果彼等自身が四方に買ひ進みを初めたのにあると思はれる、何故かと云ふに昨冬から引續いた米價の好調は朝鮮地主の收入を非常によくした、いかに良かつたかと云ふにその個々に關する觀察は姑らく措き大體より推測するに昨秋朝鮮の米收は約一千二百萬石である、此內

▲輸移出米は 約百五十萬石から二百萬石の間を上下するであらうと思ふ、乃で結局鮮內で消費される米は一千萬石內外と見て大過はない、此內半量の五百萬石は市場に出でず農家各戶の消費米となり殘りの約五百萬石が一應市街に出で更に全鮮に於ける需要に供せらるゝものと推してよからう、果して然りとすれば營農者の手を離れて商人の手に移る米は先づ七百萬石見當と思ふ、其の七百萬石は昨年來米價昂騰のため石當り前年の產米に比し石七圓方の値上りと見てよい果して然りとすれば

▲昨秋の產米 によつて朝鮮營農者の收得した前年對比の增收は約四千九百萬圓に上る勘定である、無論未だ農家の手を離れてない米も多量あるが米價は猶ほ先高見込みであるから農民の收得增は前揭の數字を訂正する必要はあるまい乃ち朝鮮農民は昨冬來の米商により前年より五千萬圓の收得增を來した、尤も物價騰貴のための肥料費や生活費の支出增加遂年米安の創拔を癒する必要の資金も右の內から支辨されたであらう然し要するに何千萬圓かの餘計な金が剩つてゐる譯である、此の金が

▲地主筋の 土地買ひ進みに化しつゝありと見て宜しい、唯其の傾向は土地兼併の弊を助長するのであつて可否は自ら別問題であるが一種の事實であると斷せざるを得ない

◎滿洲製粉募株成績

鮮銀にて申込みを取扱ひたる滿洲製粉會社新株の募集は五日締切りしが合計八十株にしてプレミヤムの平均は一株十八圓二十錢なりしと

◎滿鐵社員遣米

滿鐵會社にては三月二日附を以て同社沙河口工場勤務職員長谷川久保佐藤恕一氏に對し往復共十箇月間米國に留學を命じたりと

◎警務部長退京

警務部長會議列席の爲め入京中なりし神田忠南警務部長前田忠北警務部長藤田全南警務部長中村慶南警務部長慶北警務部長は七日午前退京夫れ〳〵歸任せり

◎松永長官歸任期

目下忠淸南道慶尙南道管內狀況視察中なる松永京畿道長官は九日歸任す可し

◎黑澤龍山工場長

滿鐵京城管理局龍山工場長黑澤明九郞氏は往復一週間の豫定を以て視察の爲七日朝釜山發急行列車にて哈爾賓に向け出發せり

人事消息

▲藤田臣由氏(戶畑硝子會社社長) 七日夜入京天眞樓へ
▲北村右四郞氏(陸軍三等藥劑正) 七日夜入京小知火へ
▲永田政吉氏(鴨綠江採木公司理事長) 七日夜入京朝鮮ホテルへ
▲石原逸太郞氏(同公司員) 同上
▲加來德雄氏(同公司員) 同上
▲磯野官一氏(東京竹內鑛業會社員) 同上

百鬼百題

昨今の露國の形勢に對し中立の位置にある一露人の評に曰く▲露國の智識階級の健全分子は皆逃れてドン州哥薩克の庇護の下に暮して居る▲コルマロフ、ドラゴミーロフなどの諸將も孰居所こそ不明だが定めて何處かに隱れて潜勢力を貯へて居るに相違ない▲而して機の到るを待て居るのであらうされば此の機を過たず強隣の出兵を煩はしたい▲其勞に報ゆるには戰後鑛山採掘權乃至經濟上の利益を條件として提出したい▲心ある者の多くは無殘にも國家と人民を自家試驗の材料に供したレニン一派を非常に憎んで居る▲又た露國の一文學者は曰く▲日本の古諺に獨活の大木と云ふ事があるが露國の現狀は全く其通りである大木でも獨活だから致方がない▲一體今の樣に國民が非文明では共和に成つても亂暴的な共和國が出來るのだ▲先づ共和になる前にて[illegible]教育の普及を計らねばならぬ現在の樣に一村で文字を知つて居る者は村長丈けでは駄目だ▲而も其村長さへ無學者が多いと云ふ有樣だから仕方がないと

大阪財界通信

▲紡績界變調 紡績業の上[illegible]

ざれば採算立たざる離間題を生ず[illegible]べき嫌あり而して現在の實需方面[illegible]

世界的趨勢なれば本邦の絲價も自然騰貴の傾向を來すべきも各國紡[illegible]

異面白なる需要の起るを待て紡績に註文し全く從來の先約方針を一[illegible]

を懷くものなきに非ず[illegible]料期に於ける絲價の關係に其成行容易に豫知し難きものなりと[illegible]

を手控へ形勢の推移を觀望し居れり來月に入らば愈々需要期に入るべければ多少の昂騰を見るならん[illegible]

にて製品の出廻る每に價格の默上り忽ち輸出に振向けられ內地市場は常に品拂底を告げ居れり[illegible]らんと

▲揮發油強硬 [illegible]告げたる揮發油は[illegible]

◎護謨市況昂騰

新嘉坡市場に於ける原料護謨の相場は昨年末に於て同地護謨市場開設以來類例なき記錄的大暴落を演じ[illegible]句には兩種共に二弗方昂騰し九十二弗の唱へとなり最近新嘉坡某所への入電に據れば又復二弗方[illegible]

補血强壯 純人參精腦

能く効く藥は能く賣れる

本劑を愛用する人は精力を增進し疾病を驅逐す

本社營養研究所長 兼附屬牛込病院長 正四位勳三等 醫學博士 天谷千松先生 實驗證明

三月一日 改正定價
十日分 金一圓
二十日分 金二圓
三十日分 金三圓
六十日分 金五圓二十錢
九十日分 金七圓

鮮內當分 一割減價

京城 朝鮮製藥合資會社 振替京城三八一〇番

司法大臣 松室致閣下題字
京城地方法院所屬辯護士 法學士 加古貞太郎先生序文
前韓國財政顧問附 小笠原寬先生序文
法政大學校友 關西大學校友 越智唯七編纂

新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽

大正七年一月一日現在 正誤表附菊判クロース金文字入菊版千百五十頁 定價金三圓 郵稅十八錢

本書は府郡廢合の整理を既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたる一目瞭然たるものにして道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革日、鮮、淸、西歷の詳細對照年號を示し管區數、人口、戶數、道路里數、各道の廣袤、交通、產物名稱、舊跡、溫泉其他の槪況を掲げ

本書は官廳執務上を初め政治家、實業家、學者、交通、產業其の他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺くへからさるの必携書なり

發賣元 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部 電話三二六。六六〇 構內一八番

[illegible]の昂騰を見せらる、以上來期の絲價は殆んど[illegible]況を來すや必ず[illegible]前途に[illegible]要するに[illegible]の前途に多少の疑惑[illegible]

[illegible]時に入れるに拘らず[illegible]商況多少の[illegible]苦しからず加ふるに[illegible]行する由にて前途益々昂騰するなか[illegible]

[illegible]

◉世間に對し申譯が立つた

＝噫、富永常陸丸船長の事＝

同情禁じ能はざる未亡人の手紙

さくら丸機關長　鐵道院技師　山縣文人氏談

七日の夜さくら丸の入港を待つて機關長山縣文人氏を訪問し常陸丸船長富永清藏氏に付きて談話を求むると氏は殊も語感して個人的關係が有する私の話は自然我田引水の嫌ひなきを保し難いからさて謝絶された、記者は其の心が已に公平を示して居る是非にと懇望に山縣氏は語る

もう履歴等は諸新聞で發表してある通り富永は學校を出ると直ぐ暫時近海航路の船長として勤務し日露戰爭以來は稻葉丸船長として

◆米國航路 を爲し常陸丸に轉じても早や三年計りになります大抵な人が一航海百五十日を要する長時日の航海ですから倦怠の態がありますが富永は決してそんな事はなかつた尤も年配も相當に多かつたので先づ海員としての榮譽は贏ち得たので近く後進の道を開く爲めに身を引くと云つて居た折柄

◆斯うした事が突發 しましたので何んとも致し方はありません、私は富永とは親族關係は無かつたのですが妻のげん子とは近い親類で未だ富永が商船學校時代妻の嚴父穗十郎氏の健在な時分から娶はす事になつて居たのでした嚴父が素と吉川藩で八十石を戴いて居た士で非常に家庭も謹嚴なものでした御承知の通り家內は豫備海軍中將文藏氏の末妹でげん子は今年三十八歳ですが私の口から可笑しい樣ですが

◆女に似合 ぬ確固者です、イヤ兎も角富永は非常に謹嚴な一方で決して普通の海員相性等は薬にする程もありませんでした、道樂と云つては左樣です撞球と碁、將棋位なものです球は六七十位で至つて好きでした閑散な時は非番棋に沒頭して居ましたが碁は先づ初段に六七目位な處でした

◆外國の珍しい處を 寫すとか云つて寫眞の稽古を始めるとか云つて居ましたが私も二年程前神戸で逢つた限りですから最近の生活はどんなものでしたか一向判明りません、そして富永は至つて子煩惱でして閑な時は子供を連れて散歩をして居ました富永が生前中非常に好船長として囑目されて居たのは少くとも彼が常に『自分は一家に在つては

◆子供が一 番可愛い、船に居る時は船員一同は自分の子の樣な氣がする實際自分の部下は可愛い者だね』と常々斯う云つて居たが之等は確かに好船長として評判の良かつた主因だと思ひます、私等の者なり又文藏中將其の他親族の意見は却て男らしい最後を遂げた事を喜んで居ます、マア海員として將た船長として

◆職責上先づアノ結 果は最善の方法かと信じて居ます、過日家內のげん子から手紙が來て居ましたが別に女々しい事もありませんでした一箇月前迄は捕虜になつたものと信じて居たらしいので只會社からは今に不明／＼と云つて居られる計りで若しか捕虜にでもなつて居ないかと心配して居ましたが沈沒してアヽした最後を遂げた事が判明したので世間の方なり會社に對しても

◆申譯が立 つたと云つて寄越して居ましたソレは內心を察しると夫の死と云ふ事は少くとも女に對しては重大な問題ですが文藏中將の言葉もありませうが、アヽ確固して居て呉れると私等迄も肩身が廣い樣な感じが仕ます、長女の初子は今年十八歳ですが

◆文藏中將には子供が ありませんので多分養女とするらしいです跡繼ぎは今中學に居る博（二〇）が爲るのですが多分國元に歸る事に決定するだらうと思はれます、それ以上は何卒御斷りします、餘り身內贔負となりますからどうぞ惡しからず、記者は山縣氏の厚意を謝して十時二十分下船した（寫眞は富永常陸丸船長）

◉聯合演習豫行

八日午前十時より龍山新練兵場に於て十日の陸軍記念日當日擧行さるべき諸兵聯合演習の豫行を富擢大佐統監の下に行ふべしと

◉京城醫專入學志願者　鮮人百三十名

京城醫學專門學校にては去月二十日鮮人志願者に對する入學試驗を執行目下其成績詮衡中なるが本年は鮮人總志願者百三十名中無試驗入學を許さるべき高等普通學校出身者三十六名あり然かも全體の採用人員は五十名內外なるを以つて受驗者中より採用せらるゝ人員は極めて少數に過ぎざる可しと內地人志願者總數四十名あり中九名は京城中學出身なるが之等は體格檢査のみにて無試驗入學の特典あれば殘餘の三十一名に對し試驗を行ふべく其期日は來る二十七日より三日間なりと

◉京城高女志願者

十一、二日入學試驗施行

京城高等女學校にては來る十一、十二兩日間入學試驗を行ふ由入學志願者は三百十二名にして昨年に比し三十餘名減少したりと

◉女學校の入學試驗　＝が近づいた

◇受驗者は何に注 意したならよいか

女學校へ入學志望のお孃さん達へ入學試驗に就ての注意として某女流教育家は次の樣な話しをしました『女學校の入學試驗と言ふものは皆が固くなつて考へる樣にそんなに至難いものではありません只

◇尋常五年六年で 習つた教科書さへ確實に覺えて居れば大概間違はありません萬一應用問題が出る樣なことがあつても之れだけのことが確實に頭に這入つてさへ居れば出來ない事はない筈だと思ひます私の經驗によると其れ丈けの事が皆が何うも確實に頭に這入つて居ない樣に思はれます一番手近い例が

◇讀取の答案を見れ ばすぐ分りますが大抵のものが滿足の字を書いて居る者はありません棒が一本多かつたり少なかつたり點があるべき字に無かつたり無くてもいゝ字にわざ／＼付けてあつたりして其の不確實さにはほと／＼呆れる許りでありますこれは或は一度尋常で習つた五年六年の教科書以外に矢鱈に至難しい參考書ばかりに囚はれて其方のことを

◇復習しない所以 ではあるまいかと思はれますが今言つたやうに試驗準備には何もそんなに五年六年の教科書以外の至難しいものの許り無暗に練習するよりも五年六年の書物を確實に徹底的に頭に入れるに越したことはありません次に今一つの心得べきことは之は中學に於ても同じことのやうですが女子の方は男子の方よりも一層

◇試驗場でピクピク することでありきすが之がまた成績に關係することは大變なものであります例へば作文に於ても初めの書き出しから見ると此方なら小學校の卒業生としてはもう立派な文章家だと思はれる樣なのが何んだか中途から途方もないことを書いて居たりするものが屢々見受けられるが慽んなのは實際によく出來る生徒だけれど試驗場で餘り

◇ピク付く結果慽ん な不覺を見るのであるから誠に氣の毒な次第と謂はねばなりません試驗場では酞じてピク付かない樣に心掛けるが肝要です………』

◉安徽省の鼠疫

安徽省のペストは十名の死亡者を出したるのみにて今や殆んど終熄の狀態にあり（安徽特電）

◉無門會三月例會

無門會三月例會は來る九日午後四時より南米倉町京城俱樂部樓上に開催し後藤瑞巖老師の禪海一瀾の提唱ある由にて參聽隨意なりと

◉死人蘇生

▽普通學校の女教員　死後六時間で

全南谷城郡普通學校長玉木英雄氏夫人は同校女教員勤務中産後の肥立ち惡しく病臥中の處三月二日遂に死亡し醫師も亦死亡したるものと診斷したるより王木氏は直ちに葬儀の準備に取かゝり一方道廳に於ては特別手當及び埋葬の沙汰までなしたるが死亡後約五六時間を經過するや死人は再び息を吹返し目下は格別危險の狀態もなく日々輕快に赴きつゝある由多分生命を取止め得べしと（光州）

◉京中生徒の射擊演習

＝痛快極りなし

回銃聲谿谷に轟いて

京城中學の五年生百餘名は七日午前十時から南山の南麓、龍山練兵場で實彈射擊演習を擧行した、眞黑の制服に銃劍を云ふ勇ましい姿で三個小隊を編成し教官岡村大尉に引率せられて目的地に迪り着くと直ぐ第七十九聯隊の

▽兵士と合同 で射擊を開始する、射距離は二百米突、一人五發と定めて三人宛交代にボン／＼ぶつ放す、銃聲は谷から谷へ木魂して折柄の碧空を震ふかと疑はれるばかり頗る痛快である、一發放すと遙か向ふの標的がクルリと引くり復つて旗が出る、旗は

▽點數を信號 するので度毎に黑い制服の群が色めき渡る、岡村大尉は絶えず射手の後方から矯めすがめつ『照準が高いぞモット下を狙つて』『君の銃はねじれて居るぢやないか』など、却々忙がしい、斯く正午になつたが射擊の手はチツとも弛めず誰も彼も

▽宛ら敵前に 居るものゝ如く緊張した心持で擊つて擊ち捲つた、始めて經驗する實彈射擊にも拘らず成績は非常に好い方で中には易々と三十八點も擊つて卒年の最高記錄を破つた者も居る、射擊を終つたのは午後四時、一日

▽隊伍を整へ た上第七十九聯隊の土橋中尉から機關銃の說明を聽き取り發射の實況を見學して同五時『擔へ銃』『前へーオイ』と歸校の途に就いた、二十八點以上の好成績を示した生徒左の如し

二十八點中岩靜通▲同鹽江恐作▲二十九點西郷健二▲三十點稗田治平▲同相澤勝正▲三十三點市川信敏▲同石橋毅▲三十四點山里秀夫▲三十八點渡瀨晃嗣

◉京中生の機關銃見學（記事參照）向つて右の將校は土肥大尉其後方は岡村大尉

▽軍隊でも舌を卷いて居る

岡村大尉の談

右に就き教官岡村大尉は語つて曰く『實彈射擊は一昨年から遣り始めたので恰度今年で三回目である始めての射擊にも拘らず成績は概して好い、去年の最高點は三十六點であるが今年はソレよりも二點高くて三十八點、詰りレコードを破つた譯である、使用の銃は三十年式で、今軍隊で使つて居る三八式に比べると非常に劣て居る、コレで擊て斯だから若し三八式でも持たせたらモツト好い成績を示すかも知れぬ、實際生徒の手並には軍隊側でも舌を卷いて居るよ

◉押川事件　滿鐵に飛火

鞍山站製鐵準備係長拘引

押川收賄事件は遂に滿鐵に迄飛火し滿鐵鞍山站製鐵準備係長、布目四郎吉（四三）は六日夜大連大和ホテルより拘引せられ七日發　嘉義丸にて內地に向け押送せられたり同人は昨年六月八幡製鐵所より滿鐵に入社し專ら鞍山站製鐵所設立準備中なりき布目は逮捕せられたる當時現金二千圓を所持し居たり尙ほ同人は鞍山站工場準備一段落を告げたるを以て二月八日附を以て滿鐵會社より米國視察を命ぜられ將に出發せんとする折柄なり布目の家族は內地に在り同人は單獨にて來滿し六月以來大和ホテルに下宿し居たり同人の金發の荒きことは滿鐵內にても物議ありたり（大連特電）

◉軍曹の惡事

大邱步兵第八十聯隊第八中隊附陸軍步兵軍曹化龍政行は突如其筋の取調べを受けたる上軍法會議に送られたる右は客臘中の某犯罪が露見したるものなるべしと

◉慈善音樂會

龍山日本基督教會婦人會にては朝鮮第一流のヴイオリン名手大塚勇之助氏並に筑前琵琶五絃彈の名手村旭汀女史を中心に其他好樂の令夫人令孃の應援を得來る十日（陸軍記念日）午後七時より龍山鐵道青年會館に於て慈善音樂會を開催すと

◉四高同窓會

京城の金澤第四高等學校出身者有志同窓會を九日夜、月に開く[illegible]由なるが出身者の參會を希望すと

◉德國洋行の招宴

德國洋行にては京城南大門通りに朝鮮出張所開設以來鋭意販路の擴張に努め業務隆昌を來しつゝあるが行主川勝勘藏氏は七日午後六時料亭花月に京城記者團を招待せり

◉釋奠供養

大和町曹谿寺に於ては八日午後一時より[illegible]釋奠供養を營む由

◉大正の孝女

黄金館にて上揚中の大正の孝女の主人公松村文子に對しその左記の寄贈ありたり

▲參圓永井てる子▲一圓中野健一、牛込鐵之助▲五十錢遊仙▲一圓松葉亭內光枝▲三十錢京城中學校生徒錦十、櫻井町阿部サク、旭町園丸▲二十錢宛有田定次郎、岡村森下つね、京野▲十錢松浦、伊藤 小計七圓四十錢、舞名氏計二圓九十錢 累計七十八圓九十三錢也

◉大正の孝女

大正の孝女に同情して左の金員寄贈ありたり　京城本町二丁目永井テル子　一金三圓

△大正館　大正館にては八日より全部寫眞を差替ふるが今回の主なる寫眞は新派悲劇幼き母及び鐵の爪にして今回の鐵の爪の筋は笑の面が屢々ゴルデン一家の危難を救ふは奸智に長けた鐵の爪が己の罪惡を笑の面に被せ警察をして笑の面を犯罪者たらしめやうとするのである然して本篇に於いて笑の面はその假面を脱するさうであるその他の寫眞左の如し

△寫眞シシリ島見物△喜劇西坊商店解雇の卷△新派悲劇幼き母全四卷△活劇鐵の爪四卷△舊劇越中騷動淺野大膳全四卷

△黄金館　八日より全部新寫眞と差替へたるが今回の呼物寫眞としては舊劇大使館の秘密と題するものにして新派劇は鳥の內全三卷舊劇は湖川又之丞全四卷にしてこの外實寫物滑稽物等多數ありといふ

△稻荷座　七日夜より京山小玉、原天新一行の浪花節にて開演したるが兩人とも若手にて內地には相當の馴染もあり且つ長講二席づゝといふ勉強振りに好評を博し居れり

△浪花館　東京落語柳家〻〻一行にて連夜大入りをつゞけ居れり

朝鮮總督府營林廠大口取引

◉木材は營林廠

▲價格低廉

▲寸法正確

▲品質良好

弊居儀今般朝鮮總督府營林廠大口取引の認可を得同廠木材の販賣を開始仕り候間精々御引立褒上度此段謹告仕り候也

朝鮮總督府營林廠大口取引店

合名會社　辰　鈴木商店京城支店

京城本町二丁目九十二番地

電話長一三四七番

電話長一四二二番

電話長二二九〇番

電話長二九二四番

振替口座京城三九五一番

受信略號ケイゼウカネタツ

發信略號（タツ）又は（タ）

◉愈々建築期節來る

日本及歐米十三ヶ國專賣特許

胃腸最新藥

ヂゲスチン

食慾が進まない時に食慾を促す

元氣が衰へた折に活力を與ふ

貧血のものには血液を補給す

精力の增進と體量の增加を促す

現今醫學大家は胃腸の諸疾患に本品を最も賞用せらる

◉說明書進呈◉

東京本町　藥種問屋　岡城商店

京城電氣株式會社　瓦斯コークス

一手販賣所　京城南大門通五丁目　越野商店

電話貳〇貳壹番

御小賣共廉價にて販賣可仕候特に地方は迅速に御取扱可申候

撫順炭特約販賣　京城府龍山京町　寶榮商會　電話一〇七番

日活特約　大正館

八日より上場

新派　幼き母　四卷

舊劇　淺野大膳　四卷

立花山本東大合同撮影　一派大車輪　目出松之助

第六回　鐵の爪　全三十二卷の內　第十一十二編四卷

電燈信號……女闇牒……笑の面の正體！……犯罪の自白

昔……千仭の斷崖……電車の墜落……生か死か

全編を通し最も痛快にして猛烈なる大冒險大活劇は愈々其最大佳境に入れり

火花を散す大活劇は愈々本編に依り展開ぜられたり

鑛物分析　京城旭町一ノ七一　鮮滿工業社鑛務部　電話三〇〇

專賣特許既願　山林果樹園藝用害蟲驅除劑

◉シーエス液

松毛蟲に特効あり　說明書御申込次第送附

製造發賣元　京城旭町一丁目　山田商店　電話一〇七八番　振替京城三一九六番　龍山電話四二四番

山縣五十雄　村上唯吉共著　富の道しるべ　價十五錢　郵稅二錢　京城日報代理部　振替三〇〇番

龍山元町二丁目　金子商店　電話一〇五番　振替京城三八三

軍隊拂下品販賣

被服、袴下、手袋、靴下類一切

▲陸軍御用品其他御家庭に向く御都合よき品々

▲中古品洋服類一切

新古男女御衣裳多數取揃有之候

洋服其他新調品時に勉強御引受候

生徒募集

入學出願期日三月三十一日迄

募集人員（第一學年約五拾名　第二學年補欠若干名）

京城南大門內電話一七八九番　私立中等夜學校

櫻御殿

第百六十九回　大阪　霞の家主人

座敷牢（八）

「おゝ、知つて居る」と彦丸は云つた、菩薩は息を機ませて
「それを何うして御存じぢや」
「知る理がある」
彦丸は得意らしい面をした
「その理を聞きませう」
「乃公が知らせたのぢや」
「お知らせなされたとは、そりや何んの事でござります」
「和御寮では分るまい、方様も御存じあるまい、熟う知つたはわしぢや、それから天道さまぢや」
「わたしも知りたうござります」

「和御寮も知りたいか」
「敎へて下さりませ」
「ついわしが知らせたのぢや、方様のお飛脚が出ることを、わしが云うて遣つたのぢや」
菩薩は兄の面を穴の開くほど見詰めながら
「それを誰方へお知らせでござりました」
「清之丞殿へ知らせたわさ」
「ね、松尾様へ……？」
「おい喃、是非知らせて吳れと賴まれたに由つて知らせた」
「清之丞様が……？、あの忠義の厚い清之丞様が、何として方様のお飛脚などを知らうと爲されたのでござりませうな」
菩薩は不審の目を光らせる、彦丸は臓までを吐き出すように
「わしは尾州へ踊りたいのぢや」

「何と御意遊ばします」
「和御寮は踊りたうないか、わしは廣島が厭になつた、でも、大殿も若殿も、御家老の丹波殿も、恐しい目をして睨んでばかりござるものを……媼様だいに可愛がつて下さる人は一人もないもの」
彦丸はげんなりと頭を下げる
「お兄様、あなたまあ何といふ情ないことを御意遊ばします、尾州の媼さまにお付き申して何處に出世がござります、大殿も、若殿も、お兄様を一人前の武士にしたいと思召して、種々御苦勞遊ばすのでござります」

「わしは否ぢや、武士よりは百姓になるが望みぢや」
「まあ、お兄様、あなたそれで殿方と云はれまするか、婦人の菩薩ですへ殿様のお蔭を受けて、お父さまのお名が現はしたいと思ふて居るのを、あなたはまあ、何といふお情ないお心でござります」と涙ながら意見を仕かけたが、彦丸は何の感じもないように、ぽかんと口を開いて居た、菩薩は見ると後をつぐ詞も絶えて、暫くは無念の齒を切つた、然し捨て置かれぬは、今聞いた言である、清之丞が何の爲めに、方様のお飛脚を知らうとしたか、彦丸が尾州へ踊りたいと思ふ一念を利用して、其の御動靜を聞き糺したか、清之丞殿に限つて惡心があらうとは思はれない、けれど表面から見わかぬは人心、どのような惡魔が這入つて居やうかも分らぬ、萬々一城下外れの並木松から現はれて、お飛脚を脅かした曲者が、清之丞殿の手の者であつたら、世にも由々しい騒ぎとならう、何につけても警めねばならぬのは兄である、兄の恐しい心である
「お兄さま、あなた、今の事を誰にも仰せ遊ばしますな、清之丞様へお疑ひでも掛つては、お家の一大事でござります、延てはあなたの御難儀にもなりませう、尾州へお踊りなされたくば、わたしが何うとも致します、決して〳〵他に頼みなどなされますな、そんな事が聞こえては、あなたのお胸へ白刃が飛んで參ります」
彦丸は妹の優しい口に威嚇されて、わな〳〵と慄へ出した

□華山の鯉が五千圓

□總額八萬五千圓に上る

◆神奈川縣某家藏品四百六點は石井泉田石川三札元の扱ひにて四日東京美術倶樂部にて入則札さる、今回は新舊のみにて素人眼にも受け易く總額八萬五千圓といふ上成績を擧げ得たり
◆華山の「鯉魚」が鯉だけにピンと五千二百五十圓（本山）の最高値にまで飛び上り、景年が千百圓（石川モ印）に上つたも死して値を殘したと云ふものか
◆故今村紫紅の伊達政宗は千二百五十圓（平山堂若印）菁郁觀山の中辨財天の三幅對が千三百圓（石井セ印）等院派の作家も亦骨董界に大いに持囃さる（東京）
▲千七百五十圓和亭五客の圖（石川石井）▲千八百五十圓幽谷花鳥（同）▲千十五圓廣業春秋山水双幅（香崖閑令印）▲千二百五十圓紫紅伊達政宗（平山堂若印）▲千二百二十一圓春草若竹に小禽（吟松堂）三千四百圓▲芳崖秋江漁樂（石川石井）▲千二十八圓對山深山幽邃（吟松堂岡村）▲千三百圓靑郁觀山中辨天三幅對（石井セ印）▲千百圓景年花鳥十二ケ月畫帖（石川モ印）▲五千二百五十圓華山鯉魚双幅（本山）▲三千三百圓梅逸設色花鳥（石川石井）

名刺　京城　太平堂　電話二七一二番　振京二三六七番

日報俳壇

多雅詠

捕鯨船の灯火白し冬の月　柿實
去月に梟鳴ける野宮かな　同
水鳥の躍捺り飛ぶや枯芒　同
市の挨拶ひ居る鶴の巨口哉　同
船造くる音朝かや小春凪　湯子

溜れ池に光る濁りや冬の月　同
衹園に煙追ふ小火事の名殘哉　同
濁れ河に砂烟り立つ鳳凰哉　同
風に舞ふ落葉に慄ゆ兒狗哉　同
口を尖らす女卑しき火鉢哉　琴城
炭に伐る立木に弱き西日哉　同
土手を築く人夫の唄や落葉風　要村
牡蠣船の灯影に浪が動き居り　同
川を下り停車場見ゆる多木哉　同
柳離れて海染む月に鳴く千鳥　侍宵

洋料理　すき焼　おいしい京城唯一との高評を博し居り候　本町大通　電話二五七一番　カフエータイガー

人參エキス　京城本町壹　電話一四八〇番　八七〇番　津村兄弟商會

入電にて當三千万錢中三十七錢先八錢七錢八錢七錢二節五十七錢八五十六錢より八錢あつて七錢三節錢七錢八錢七錢六錢五錢六錢四節中間銀先五十七錢八錢より六錢四五十六錢五錢六錢七錢六錢七錢六節々持合ひの裡に結局七錢を示す

新刊紹介（到着順）

▲朝鮮彙報（三月號）高女校長に對する總督訓示、肺結核豫防規則（古海總長）發兵制度の一部改正（渡邊彰）支那視察談（內藤博士）體香研究に就て（池亀治）京城史（國分兵大尉）鎭南浦の游泥方案情、雜錄、統計、法令通牒、判決例等あり殊に法令通牒判決令にはミシンを入れて共ま引放しても合冊し得る樣にしたれば讀者の便利勘からざるべし（二十五錢朝鮮總督府官房總務局總務課）
▲獨逸の經濟的膨脹策（新渡戸博士監修、通俗大學會譯）獨逸が過去二十年のあらゆる方面に於て異常の發展をなしことは到底他國の企及し得ざる所にして若し此の速度を以て進まば恐らく今後十年ならずして世界の力を悉く此の獨逸に集めむるに至りしやも知る可からず然るに獨逸が此の十年を待ち得ずして投機的の暴擧を敢てしたる爲め終に今日の蹉跌を見たるものなるが、さるにても獨逸が從來何なる方法と經路によりて世界を壓倒すべき實力を養ひ來れるかは之が詳細に知るは最も興味ある問題なるを以て本書は專ら之を究明し解說に亘つて興味ある研究によりて此の問題に經驗も解し易き様アンリオーセ氏の解說せし著者を平易簡明なる口語體日本文に譯出したものなり（一圓五十錢東京神田表錦町一〇通俗大學會）
▲新演藝（三月號）表紙繪は田中良氏の袖萩宗之助のお初と居古國七代目團十郎の松王丸を始めとして平井隆八郎の吉野山道行其の他三色二色版コロタイプ等の優麗瀟雅なる寫眞數多數あり記事には東都演藝諸大家の執筆にかゝる有益なる記事多し（四十錢東京芝公園地玄文社）

讀者の領分

平壤 賑町遊廓大船樓で此の一日から晃世に出た娼妓は本名を山口カツ（二〇）と迄は至極平凡であるが其の源氏名を「二度ビツクリ」と付けたのは頗ぶる奇抜だ（注進生）
▲永樂町△△研究會に毎夜通學する○○君よ君が勉強は大に賛成だが時に袴のまゝ格子戸を覗ひは止し給へ、何に人情の然らしむる所だつて？、呆れて物が言へぬよ（隠れたる友）▲弓狂生の懇切なる敎示を拜謝す（日暦漁）▲外交員募集!!月收△十圓也穩ふした廣告はよく我々浪人の眼に止まるが何の事かと讀むで見ると誰儀屋の註文取りだ何程零落たつて是れだけは御免だね（浪人）▲私は遠くもない親類の宅に寄偶して居ますが、隣の偶女中君に心付をやれば『ソンナ事はしなくともいゝ』と斥けられる、で遣らなければ妙に當擦りを言はれる實際世の中は住み難くい（草枕）

御旅行と御散歩と動物園行には輕裝なる洋服に遊ばせ　京城旭町一　電話三〇二〇番　コドモヤ洋裝店

肋膜炎を病む方に

△水がたまつて苦しむ人　△水がたまらなく苦む人は
ロクマクエンにて永らく病む人は淡色のかたまり液の中に血が交り膿汁がたまり呼吸をすると胸が痛む咳嗽が出る動くと呼吸が困難になると云ふ隨分難儀な病氣である此病氣を速く治して丈夫になりませんと世の人々の最も恐れて居ります肺病に成り易いのですが未だ此病氣に良く効く良藥がありませんで東京府大森新井宿中江藥業苑へハカキにて御照會あれば是迄實地服藥の上最もヨケキクヤ藥の自宅治療問答書を同病に悩む方に無代差上げます御遠慮なく申越下さい

古著古洋服

諸物價騰貴の折柄々不拘從來の價格にて高價に買入可申候間多少に不拘電話又はハガキにて御報次第早速御伺可致候 御質札買受交換等も仕候
京城本町二丁目　あはじや　江頭衣服店　本店電話一三五番　支店電話九一七番

京日案內

普通　一回前金　五十錢　一番外

◎外務員男女を問はず至急入用　希望者は本人來談あれ　黃金町二丁目　京城新聞社
◎配達人募集　但し內地人希望者至急來店あれ　明治町二丁目十三　（電話二八一八番）　朝日座前　479
◎助手藥局生看護婦入用　希望者本人來談　仁川　松本病院　47
貸地家　三百餘坪　櫻井町二丁目　病院宅地ニ適ス　姓名在社
◎校正係日鮮人を問はず至急入用　希望者來談あれ　黃金町二丁目京城新聞社印刷部　475
◎貸家　水標橋尙州川淵に近く延坪約四十坪事務所及住宅に好適庭園有水道付家賃廿五圓（電九八九）犬島　474
▲金融　官吏敎師へ極秘信用手形貸出御相伺上候又御來店　京城本町五丁目　電車終點　北　大和屋質店　474
社員大募集　事業大擴張に付卒業者履歷書送付　有無を不問來談地方は　京城黃金町二丁目　共保生命保險會社出張所　468
議政府　楊州抱川永平行荷物積合牛馬車毎日差立　京城　田舍行專門運送業　㊁運送組　電話二一九一　二九〇二
小僧至急入用　本町二丁目　田中時計店　473
給仕募集　但シ十六才以上　希望者は自筆履歷書携帶來談あれ　京城黃金町一ノ一八五番地　蓬萊生命保險會社支店　484
一年餘飼養の雉子一番い三月三日去り行先は不明に付在發見の方は一報相煩し乞ふ相當の禮可仕候　水樂町二丁目　電話一二五七九番　白楊本商會內　485
給仕採用　十五六歲の商業學校卒業者確實なる保證人二名を有し自筆履歷書携帶本人來店あれ　但　朝鮮商業銀行本町支店

食料品の暴騰と主婦の責任

▼臺所經費節約の秘訣

▲食品空前の高値　食料品の市價は暴騰を重ねて今や空前の高値を示し、野菜其他の副食品亦然り。斯の際に打撃を蒙るものは御臺所であります。私共の生計費の大半は臺所で消費さるゝに諸物價の騰貴中、殊に食料品が空前の高値を示したのであるから、普通の家庭では是非共經費を切詰めねばならぬ事となつて、玆に現れる安價生活法の所以であります。
▲慘たる二食主義　と稱せらるゝものさへ、公然發表されて、世人が怪まぬ程となつたのであります。二食主義!!何たる悲慘な生活法でありましやう。然しながら紙法に臺所の經費を節減せんとすれば、假令二食主義とまで極端に陷らずとも、必ず私共の日常の活動に必要なる營養分を減ずる事となるのであります。これ心ある主婦の最も苦痛とする所であつて、食費を節約して、而も從來と異らぬ營養分を攝り得る妙案は無いでありましやうか。どちらかとは、主婦の責任を自覺せる婦人の必ず思ひ悩む所でありましやう。所が玆に何等の苦痛も感ぜずに實行し得る
▲食費節約の妙案　が唯一つあります、それは料理を研究する事であります。料理法を研究し、料理法に通ずれば、食品を選び、廉價な材料を使用して、悲慘な二食主義など強行しなくとも、安價の營養分を取り、從來よりは寧ろ一層美味な食事を調理し得るのです。
▲板垣伯爵夫人　は我が國民の食品料理が頗る幼稚なるを憂へて、夙に東京割烹講習會を設立し、同所より「家庭料理講義錄」を發行し、斯道の專門大家を聘して、如何にせば滋養ある食物を最も安價に、最も美味ならしめ得るやを講ぜしめて居りますから、合理的の安價生活を營むものは勿論、荷にも料理を習得せんと欲する人々も、何れも入會して、毎月『家庭料理講義錄』の配布を受くるが最も得策であります。今其內容の大略を左に申上げます。
▲講義錄の內容　は▲日本料理科▲西洋料理科▲支那料理科▲日本菓子科▲西洋菓子科等に大別されてゐて和洋料理及び菓子に關する一切を網羅するは勿論、其他▲年中行事▲漬物▲鮓物▲惣菜▲野菜の栽培法▲老人、小兒、病人の食物▲通俗化學▲各種食品の研究▲名士の嗜好談等を毎號掲載して居ますから、頗る實益と趣味とを具備して居ます。尙ほ同講義錄には特に禮儀作法の一科を設けて、日本禮儀作法は勿論、西洋食卓法、日本食卓法まで一切の禮儀作法を習ひ得ますから、女子必要の修養錄と云ふことが出來るのであります。
▲新學期開始　同會は目下新學期を開始せんとして、會員の大募集中にて、殊に今年は同會創立十周年に當り、其の紀念として、此の際の入會者には種々の好特典あれば、只今が入會の絶好時機であります。會費は一ケ月分三十五錢、三ケ月分一圓、六ケ月分一圓九十五錢、一ケ年分三圓六十錢であります。
▲入會手續　は極めて簡單にて『ハガキ』に「講義錄入會」と書いて申込めば直ちに會員として毎月其の地の郵便局より集金に行く故、何の手數もありません。

▲大特典有り　同會は十週年紀念として此の際の入會者に限り入會金を免除し「料理必携」を進呈する外、會費六ケ月分前納者には「家庭寶典」を、一ケ年分前納者には「紀念メダル」及び「最新パン製造法」を進呈します。
▲米價半減の寶典　前記の「最新パン製造法」は同會講師陸軍糧秣本廠技師田中某氏の高著にして、前會計檢查院長田尻稻次郎博士及陸軍糧秣本廠長宮里某五郎先生の推奨を受け、安價生活の指針として、食パン製造の要訣を網羅し、出版以來非常なる好評を博せるものであります。
▲見本無代進呈　見本入用の方へは申込み次第無代進呈しますから、直ちに申込んで下さい。
東京市本郷區元町　株式會社　東京割烹講習會　電話小石川二六四〇番　振替口座東京一九四〇二番

▲拾週年紀念大特典あり

第拾壹回決算報告書

（自大正六年一月一日　至大正六年十二月三十一日）

資本金　壹百萬圓
諸積立金　參百九拾七萬四千五百九拾七圓五拾壹錢

貸借對照表

資產之部	
未拂込株金	七五〇、〇〇〇・〇〇〇
郵便振替貯金銀行預金及現金	壹六、壹貳六・五四六
貸付金	九壹四、四五九・四六四
有價證券	七四八、六六四・八八四
不動產	壹、九七七、五貳四・五壹〇
什器	參貳〇、四四壹・〇壹〇
未收保險料	壹〇〇、壹六〇・四參七
代理店貸	七七、參六壹・四四〇
假拂金	貳參四、四六〇・六壹參
合計	五、〇八四、貳參四・七壹九

負債之部	
資本金	壹、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
法定準備金	貳五〇、〇〇〇・〇〇〇
別途積立金	貳〇〇、〇〇〇・〇〇〇
責任準備金	參、四〇六、九六壹・四參〇
生存分配準備金	參七貳、貳五六・〇五〇
保險契約利益配當準備金	八貳、八八〇・〇〇參
支拂備金	參五、〇五八・〇〇〇
假受金	四貳九、五八〇・五六〇
未拂株主配當金	七參、七五〇・〇〇〇
遞物發護假受金	九、〇〇〇・〇〇〇
利益金	壹參貳、五七五・八九九
合計	五、〇八四、貳參四・七壹九

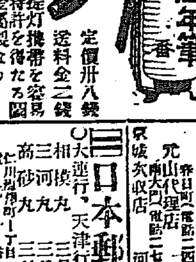
利益金　拾參萬貳千五百七拾五圓八拾九錢九厘　之を處分すること左の如し
法定準備金　壹萬圓
別途積立金　壹萬圓
株主配當金（一株に付六拾貳錢五厘即年五分の割）
役員賞與金　壹萬貳千七百圓
株主特別配當金（一株に付壹圓八拾七錢五厘即年壹割五分の割）
保險契約に對する利益配當金　四萬七千五百七拾五圓八拾九錢九厘
右之通候也
大正七年二月
横濱市本町五丁目七十番地
株式會社　横濱生命保險
取締役社長　大浦忠三郎
取締役　石川德右衞門
取締役　渡邊文七
取締役　中村房次郎
取締役　茂木惣兵衞
取締役　井坂孝
監查役相談役　無之候也
監查役　若尾幾造
監查役　原富太郎
監查役　澁澤義一
前記各役員任期滿了に付き改選の處何れも再選重任せり

寫眞　寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛版　最も熟錬せる技術を以て最も廉價に御需めに應ず　京城日報社　寫眞製版部

京城龍山等各地に僞物有御注意

百圓進呈　りん病　ばい毒　帝國醫科大學病院　...　大阪有田ドラツグ商會　京城南大門外停車場通

今回朝鮮總督府の御買上を蒙りたる　自轉車用提灯　パイン萬年筆　定價卅八錢　送料金二錢
取締規則に適應し提灯携帯を容易ならしむべく新案特許を得たる圖の如く體形優美の金屬製なり
發賣元　京城太平通（電話三六〇番）京日代理部　振替京城三〇〇番



王李　模範　牛乳　御用　ニウソ　石鹸洗粉　太正塚肥　京城蓬萊町四丁目　東亞牧場　電話五二番

尼崎汽船出帆

君代丸・秀吉丸・神代丸・大有丸　群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行

共同汽船出帆

波師共同丸・大連行

日本郵船仁川出帆

相模丸・三河丸・高砂丸　大連行、天津行

釜山出帆廣告

門司、神戶、大阪行・立神丸・和歌浦丸・元山、淸津、浦鹽行

朝鮮郵船

元山、釜山、城津、淸津、浦項、木浦、濟州島行ほか各航路

大阪商船株式會社　汽船出帆廣告

神戶、大阪行・須磨丸・南都丸・福州丸・木浦、安東丸・鎭南浦行・信濃川丸・西湖津、新浦、城津行・宮島丸・釜山、門司、宇品、神戶、大阪行・安平丸・大連出帆・上海、基隆行・湖北丸・基隆丸
南米行・濠洲行・北米行・孟買行・南洋行

開自動車著發時刻

金泉支部　京城居自動車部　電話四八番